AQUOS PHONE SERIE

SHL21

取扱説明書

4G LTE

ごあいさつ

このたびは、「AQUOS PHONE SERIE SHL21」(以下、「SHL21」または「本製品」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前に『取扱説明書』(本体付属品)またはauホームページより『取扱説明書詳細版』をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。『取扱説明書』(本体付属品)を紛失されたときは、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

操作説明について

■『取扱説明書』(本体付属品)

主な機能の主な操作のみ説明しています。
さまざまな機能のより詳しい説明については、本体内で利用できる『取扱説明書アプリケーション』やauホームページより『取扱説明書詳細版』をご参照ください。
http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html

■『取扱説明書アプリケーション』

本製品では、本体内で詳しい操作方法を確認できる『取扱説明書アプリケーション』を利用できます。
また、機能によっては説明画面からその機能を起動することができます。
ホーム画面→[アプリ]→[取扱説明書]

- 初めてご利用になる場合は、画面の指示に従ってアプリケーションをダウンロードして、インストールする必要があります。

■取扱説明書ダウンロード

『取扱説明書』(本体付属品)と『取扱説明書詳細版』のPDFファイルをauホームページからダウンロードできます。

■For Those Requiring an English Instruction Manual 英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual from the au website (available from approximately one month after the product is released).
『取扱説明書・抜粋(英語版)』をauホームページに掲載しています(発売約1ヶ月後から)。
Download URL: http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html

安全上のご注意

本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、以下のauホームページのauお客さまサポートで症状をご確認ください。
http://cs.kddi.com/support/komatta/kosho/index.html

本製品をご利用いただくにあたって

- サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル・地下など）では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。（ただし、LTE／CDMA／GSM／UMTS方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております。）
- 本製品は国際ローミングサービス対応の携帯電話ですが、各ネットワークサービスは地域やサービス内容によって異なります。
  詳しくは、『取扱説明書アプリケーション』や『取扱説明書詳細版』の「auのネットワークサービス・海外利用」をご参照ください。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的にKDDI（株）に送信いたします。
- 本製品の電池は内蔵されており、お客様自身では交換できません。電池の交換については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- 海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が本書をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

マナーも携帯する

電源を入れておくだけで、携帯電話からは常に弱い電波が出ています。周囲への心配りを忘れずに楽しく安全に使いましょう。

■ こんな場所では、使用禁止！

- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。
  自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- 航空機内では、必ず本製品の電源をお切りください。運航の安全に支障をきたすおそれがあります。

■ 使う場所や声の大きさに気をつけて！

映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。

- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。

■ 周りの人への配慮も大切！

- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。携帯電話の電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

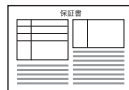
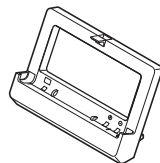
同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。

本体

microSDメモリカード※（2GB）（試供品）

カード抜き差し補助具※

※ お買い上げ時には、あらかじめ本体に取り付けられています。

保証書

卓上ホルダ（SHL21PUA）

- 取扱説明書
- 設定ガイド
- お使いになる前に

以下のものは同梱されていません。

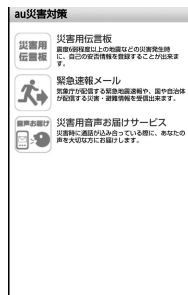
- ACアダプタ
- イヤホン
- microUSBケーブル

- 指定の充電用機器(別売)をお買い求めください。
- 本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。

au災害対策アプリを利用する

au災害対策アプリは、災害用伝言板や、緊急速報メール(緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報)、災害用音声お届けサービスを利用することができるアプリです。

1 ホーム画面→[アプリ]→[au災害対策]

au災害対策メニューが表示されます。

《au災害対策メニュー》

■災害用伝言板を利用する

災害用伝言板とは、震度6弱程度以上の地震などの大規模災害発生時に、被災地域のお客様がLTE NET上から自己の安否情報を登録することが可能になるサービスです。登録された安否情報はau電話をお使いの方の他、他通信事業者の携帯電話やパソコンなどからも確認していただくことが可能です。
詳しくは、auホームページの「災害用伝言板サービス」をご覧ください。

1 au災害対策メニュー→[災害用伝言板]

画面に従って、登録/確認を行ってください。

memo

◎安否情報の登録を行うには、Eメールアドレス(~ezweb.ne.jp)が必要です。あらかじめ、メールアドレスを設定しておいてください。

◎Wi-Fi®接続中は、削除および安否お知らせメールの設定変更はご利用いただけません。

◎当社は、本サービスの品質を保証するものではありません。本サービスへのアクセスの集中や設備障害に伴う安否情報の登録にかかわる不具合、安否情報の破損、滅失などによる損害または登録された安否情報に起因する損害につきましては原因の如何によらず、一切の責任を負いかねます点、ご了解のうえご利用ください。

■緊急速報メールを利用する

緊急速報メールとは、気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、国や地方公共団体が配信する災害・避難情報を、特定エリアのau電話に一斉にお知らせするサービスです。
お買い上げ時は、緊急速報メール(緊急地震速報および災害・避難情報)の受信設定が「受信する」に設定されています。津波警報の受信設定は、災害・避難情報の設定にてご利用いただけます。
緊急地震速報を受信した場合は、周囲の状況に応じて身の安全を確保し、状況に応じた落ち着きのある行動をお願いいたします。
津波警報を受信した時は、直ちに海岸から離れ、高台や頑丈な高いビルなど安全な場所に避難してください。

1 au災害対策メニュー→[緊急速報メール]

受信ボックスが表示されます。
確認したいメールを選択するとメールの詳細を確認できます。

削除	受信したメールを削除します。

設定	**緊急地震速報** 緊急地震速報を受信するかどうかを設定します。 **災害・避難情報** 災害･避難情報および津波警報を受信するかどうかを設定します。 **音量** 受信音の音量を設定します。 **バイブ** 受信時にバイブレータを動作させるかどうかを設定します。 **マナー時の鳴動** マナーモード設定中は、マナーモードの設定でお知らせするかどうかを設定します。 **緊急地震速報** 緊急地震速報の受信音やバイブレータの動作を確認します。 **災害・避難情報** 災害･避難情報および津波警報の受信音やバイブレータの動作を確認します。

memo

◎日本国内のみのサービスです（海外ではご利用になれません）。

◎緊急速報メールは、情報料･通信料とも無料です。

◎電源を切っているときや通話中は、緊急速報メールを受信できません。

◎SMS／Eメール送受信時やブラウザ利用時などの通信中であったり、サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル、地下など）や電波状態の悪い場所では、緊急速報メールを受信できない場合があります。

◎受信に失敗した緊急速報メールを、再度受信することはできません。

◎緊急速報メール受信時は、専用の警報音が鳴動します。警報音は変更できません。

◎お客様の現在地と異なる地域に関する情報を受信する場合があります。

◎当社は、本サービスに関して、通信障害やシステム障害による情報の不達･遅延、および情報の内容、その他当社の責に帰すべからざる事由に起因して発生したお客様の損害について責任を負いません。

◎気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報の詳細については、気象庁ホームページをご参照ください。
http://www.jma.go.jp/

緊急地震速報について

◎緊急地震速報とは、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ（震度4以上）が予測される地域をお知らせするものです。

◎地震の発生直後に、震源近くで地震（P波、初期微動）をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算し、地震による強い揺れ（S波、主要動）が始まる数秒～数十秒前に、可能な限り素早くお知らせします。

◎震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。

◎ テレビやラジオ、その他伝達手段により提供される緊急地震速報とは配信するシステムが異なるため、緊急地震速報の到達時刻に差異が生じる場合があります。

津波警報について

◎ 津波警報とは、気象庁から配信される津波警報(大津波、津波)を、対象沿岸を含む地域へお知らせするものです。

災害・避難情報について

◎ 災害・避難情報とは、国や自治体から配信される避難勧告や避難指示、各種警報などの住民の安全にかかわる情報をお知らせするものです。

■ 災害用音声お届けサービスを利用する

災害用音声お届けサービスとは、大規模災害時にスマートフォンで音声を録音し、安否を届けたい方へ音声メッセージとしてお届けするサービスです。

1 au災害対策メニュー→[災害用音声お届けサービス]

■ 音声を送る(送信)

「声をお届け」を選択し、「①お届け先を選択※」→「②お届けしたい声を録音」の順で操作してください。

※ お届け先は、電話帳からも選択可能です。

■ 音声を受け取る(受信)

音声メッセージが届いたことが、ポップアップ画面、もしくは、SMSで通知されます。音声メッセージを受信(ダウンロード)し、再生することで、聞くことができます。

- 受け取る相手が災害用音声お届けサービスに対応したau災害対策アプリを立ち上げていないスマートフォンや、au携帯電話の場合、SMSでお知らせします。
- SMSで通知された場合、au災害対策アプリに情報は保存されません。

memo

◎ 音声メッセージの送受信は、LTE/3Gネットワークのみで利用可能です。無線LAN(Wi-Fi®)通信などは無効にしてご利用ください。

◎ 音声メッセージは最大30秒の録音が可能です。

◎ au携帯電話間のみ、音声メッセージのやりとりが可能です(他通信事業者の携帯電話との相互利用は2013年春以降を予定しています)。

◎ メディアの音量を小さくしている、もしくはマナーモードに設定している場合、音声を聞き取れない場合があります。

◎ 本体(メモリ)に空き容量がない場合は、音声メッセージが保存・再生できない場合があります。

◎ 音声メッセージの受信に対応していない端末があります。詳しくはauホームページをご覧ください。

目次

安全上のご注意

ご利用の準備

基本操作

文字入力

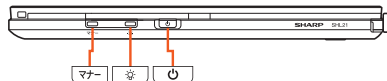
電話

端末設定

付録

本書の表記方法について

■ 掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を次のように簡略化しています。

■ 項目／アイコン／キーなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。

表記	意味
ホーム画面→［アプリ］→［電話］→「141」を入力→［発信］	ホーム画面上部の「アプリ」をタップし、次に「電話」をタップします。続けて「1」「4」「1」の順にタップして、最後に「発信」をタップします。
⏻（2秒以上長押し）	⏻を2秒以上長押しします。

※タップとは、ディスプレイに表示されているキーやアイコンを指で軽く叩いて選択する動作です。

■ 掲載されているイラスト・画面表示について

本書に記載されている画面は、実際の画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本書の表記では、画面の一部のアイコン類などは、省略されています。

実際の画面

本書の表記例

memo

◎本書では本体カラー「クリアブルー」の表示を例に説明しています。あらかじめご了承ください。

◎本書では縦表示からの操作を基準に説明しています。横表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のキーなどが異なる場合があります。

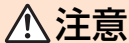
◎本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

◎本書では「microSD™メモリカード」および「microSDHC™メモリカード」、「microSDXC™メモリカード」の名称を「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。
◎本書では「au Micro IC Card (LTE)・microSDメモリカード抜き差し補助具」の名称を「カード抜き差し補助具」と省略しています。

免責事項について

- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
  大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。
- 本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

※本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）
製造元：シャープ株式会社

memo

◎本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
◎本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
◎本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。
◎乱丁、落丁はお取り替えいたします。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。
各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■ 表示の説明

⚠危険	この表示は「人が死亡または重傷※1を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠警告	この表示は「人が死亡または重傷※1を負うことが想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示は「人が傷害※2を負うことが想定される内容や物的損害※3の発生が想定される内容」を示しています。

※1 重傷： 失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

※2 傷害： 治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。

※3 物的損害： 家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

■ 図記号の説明

禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	必ず実行していただくこと（強制）を示す記号です。
プラグをコンセントから抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただく（強制）内容を示しています。

■ 本体、充電用機器、au Micro IC Card (LTE)、カード抜き差し補助具、周辺機器共通

必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

指示	必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。
禁止	高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源をお切りください。また、充電もしないでください。ガスに引火するおそれがあります。また、ガソリンスタンド構内などでNFC／おサイフケータイ®の決済機能をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。（NFC／おサイフケータイ®をロックされている場合は、ロックを解除したうえで電源をお切りください。）

禁止

電子レンジなどの加熱調理機や高圧容器に入れないでください。漏液・発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

禁止

火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子、イヤホンマイク端子をショートさせないでください。また、端子に導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、内部に入らないようにしてください。火災や故障の原因になる場合があります。

禁止

金属製のアクセサリーなどをご使用になる場合は、充電の際に接続端子やコンセントなどに触れないように十分ご注意ください。感電・発火・傷害・故障の原因となる場合があります。

禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。レンズの集光作用により、発火・破裂・火災の原因となります。

分解禁止

お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。本製品の改造は電波法違反になります。

警告 **必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。**

禁止

落下させる、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・故障の原因となります。

禁止

屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。

禁止

外部接続端子やイヤホンマイク端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

禁止

本製品が落下などによって破損し、ディスプレイが割れたり、機器内部が露出した場合、割れたディスプレイや露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをする場合があります。auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。

水濡れ禁止

本製品は防水性能を有する機種ですが、万一、水などの液体が外部接続端子カバー、背面カバー、au Micro IC Card (LTE)カバー、microSDメモリカードカバーなどから本体などに入った場合には、ご使用をやめてください。そのまま使用すると、発熱･発火･故障の原因となります。

禁止

保護シートの内部には、電池や精密部品がありますので、衝撃を与えたり、保護シートをはがさないでください。
故障･発熱･発火･感電･傷害のおそれがあります。
さらに、保護シートをはがすと、防水／防塵性能が損なわれます。

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。漏液･発熱･破裂･発火の原因となります。

禁止

乳幼児の手の届く場所には置かないでください。誤って飲み込んで窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。

⚠注意　必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

禁止

直射日光の当たる場所（自動車内など）や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱･発火･変形や故障の原因となる場合があります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。バイブレータ設定中は特にご注意ください。また、衝撃などにも十分ご注意ください。

禁止

使用中や充電中に、布団などでおおったり、包んだりしないでください。火災、故障、傷害の原因となります。

禁止

充電中は、本製品･指定の充電用機器（別売）に、長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。

禁止

コンセントや配線器具は定格を超えて使用しないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となる場合があります。

禁止

腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障･内部データの消失の原因となります。

指示

使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなどの異常が起きたときは使用をやめてください。充電中であれば、指定の充電用機器（別売）をコンセントまたはソケットから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り、auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。また、落下したり、破損した場合なども、そのまま使用せず、auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。

指示

イヤホンなどを本製品に挿入して使用する場合は、適度な音量に調節してください。音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると耳に悪い影響を与えるおそれがあります。また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。

指示

イヤホンなどを本製品に挿入し音量を調節する場合は、少しずつ音量を上げて調節してください。始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳に悪い影響を与えるおそれがあります。

指示

充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。また、正しい方向で抜き差ししてください。破損・故障の原因となります。

指示

お子様がご使用になる場合は、危険な状態にならないように保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示通りに使用しているかをご注意ください。けがなどの原因となります。

■ 本体について

⚠ 危険　必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

禁止

釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。

⚠ 警告　必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

指示

ペットが本製品に噛みつかないようご注意ください。
内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。

禁止

自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。

指示

航空機内では本製品の電源をお切りください。
電子機器に影響を及ぼし、運航の安全に支障をきたすおそれがあります。機内で携帯電話を使用できる場合は、航空会社の指示に従い、適切にご使用ください。本製品とパソコンをmicroUSBケーブル01（別売）で接続すると、本製品の電源が自動的に入りますので、航空機内では接続しないでください。

指示

高精度な電子機器の近くでは、本製品の電源をお切りください。電子機器に影響を与える場合があります。（影響を与えるおそれがある機器の例：心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知機・自動ドアなど。医用電気機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。）

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

1. 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、本製品を植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器から22cm以上離して携行および使用してください。
2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本製品の電源を切るよう心がけてください。
3. 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。
   - 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には本製品を持ち込まないでください。
   - 病棟内では、本製品の電源をお切りください。本製品とパソコンをmicroUSBケーブル01(別売)で接続すると、本製品の電源が自動的に入りますので、病棟内では接続しないでください。
   - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は本製品の電源をお切りください。
   - 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
4. 医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合(自宅療養など)は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。

通話・メール・インターネット・撮影・ゲームなどをするときや、テレビ(ワンセグ)視聴したり、音楽を聴くときなどは周囲の安全を確認してください。転倒・交通事故の原因となります。

赤外線ポートを目に向けて赤外線送信しないでください。目に影響を与える可能性があります。また、その他赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に乳幼児に対しては、至近距離で撮影しないでください。
視力障がいの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転者に向けてモバイルライトを点灯させないでください。目がくらんで運転不能になり、事故を起こす原因となります。

点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がごくまれにいます。こうした経験のある人は、事前に医師とご相談ください。

必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

指示

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。

本製品で使用している各部品の材質は以下の通りです。

使用箇所	使用材質	表面処理
外装ケース(ディスプレイ枠部)	PA樹脂+GF45%	アクリル系UV硬化処理
外装ケース(ディスプレイ側面)	PA樹脂+GF45%	アクリル系UV硬化処理
外装ケース(側面)	PC樹脂+GF30%	アクリル系UV硬化処理
背面カバー	PC/ABS樹脂	ウレタン系2液硬化処理(本体カラー:マットブラック) アクリル系UV硬化処理(本体カラー:ブリリアントピンク、クリアブルー)
外部接続端子カバー	PC樹脂 エラストマー樹脂	アクリル系UV硬化処理 なし
microSDメモリカードカバー	PC樹脂 エラストマー樹脂	アクリル系UV硬化処理 なし
au Micro IC Card (LTE)カバー	PC樹脂 エラストマー樹脂	アクリル系UV硬化処理 なし
イヤホンマイク端子	PA樹脂	なし
イヤホンマイク端子飾り	PC樹脂+GF30%	アクリル系UV硬化処理
カード抜き差し補助具	エラストマー樹脂	なし
テレビアンテナ	ABS樹脂 SUS ニッケルチタン合金	なし
電源キー	PC樹脂	アクリル系UV硬化処理
音量UP/DOWNキー	PC樹脂	アクリル系UV硬化処理
ディスプレイ	強化ガラス(表面飛散防止シート:PET)	アクリル系ハードコート処理
モバイルライトレンズ/カメラレンズ/赤外線ポートカバー	アクリル樹脂	ハードコート処理
カメラレンズ飾り	ABS樹脂	なし
充電端子	SUS	金メッキ

卓上ホルダで使用している各部品の材質は以下の通りです。

使用箇所	使用材質	表面処理
外装ケース(前/後)	ABS樹脂	なし
スイッチノブ	POM樹脂	なし

使用箇所	使用材質	表面処理
接点レバー	POM樹脂	なし
接点端子	りん青銅	金メッキ
接続端子（microUSB）	SUS	スズメッキ
ネジ	冷間圧造用炭素鋼	三価クロメート
ゴム脚	ポリウレタン樹脂	なし
ロックレバー	POM樹脂	なし

禁止

キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなどの磁気を帯びたものを近づけたりしないでください。記録内容が消失する場合があります。

禁止

microSDメモリカードスロットに液体、金属、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・故障の原因となります。

禁止

ストラップやテレビアンテナなどを持って、本製品を振りまわさないでください。けがなどの事故や破損の原因となります。

指示

通常は外部接続端子カバー、背面カバー、au Micro IC Card (LTE)カバー、microSDメモリカードカバー、カード抜き差し補助具などを閉めた状態で使用してください。カバーを閉めずに使用すると、ほこり・水などが入り故障の原因となります。

指示

テレビ（ワンセグ）視聴時以外ではテレビアンテナを収納してください。テレビアンテナを引き出したままで通話などをすると顔などに当たり思わぬけがの原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

吸着物にご注意ください。スピーカー部などには磁石を使用しているため、画鋲やピン、カッターの刃、ホチキス針などの金属が付着し、思わぬけがをする原因となることがあります。

禁止

砂浜などの上に直に置かないでください。送話口、スピーカー部、イヤホンマイク端子などに砂などが入り音が小さくなったり、本製品内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

指示

本製品を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因となる場合があります。

禁止

通話・通信中などの使用中は、本製品が熱くなることがありますので、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。火災・やけど・故障の原因となる場合があります。

禁止

テレビアンテナを伸ばした状態で本製品を振り回さないでください。傷害やテレビアンテナの変形・破損の原因となります。

■内蔵電池について

(本製品の内蔵電池は、リチウムイオン電池です。)
内蔵電池はお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。

⚠危険 **必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。**

指示

内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は傷害を起こすおそれがあるので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがあるので、こすらずに水で洗ったあと直ちに医師の診断を受けてください。

指示

内蔵電池は消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。電池は内蔵型のため、auショップなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などにより異なります。

■充電用機器について

⚠警告 **必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。**

禁止

指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。

- 共通ACアダプタ01(別売):AC100V(日本国内家庭用)
  単相200Vでの充電あるいは海外旅行用変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 上記以外の海外で充電可能なACアダプタ(別売):AC100V～240V
- DCアダプタ(別売):DC12V･24V(マイナスアース車専用)

指示

指定の充電用機器(別売)の電源プラグはコンセントまたはシガーライタソケットに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合は、感電や発熱・発火による火災の原因となります。指定の充電用機器(別売)が傷んでいるときや、コンセントまたはシガーライタソケットの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

指示

共通DCアダプタ01／03(別売)のヒューズが切れたときは、指定(定格250V、1A)のヒューズと交換してください。指定以外のヒューズと交換すると、発熱・発火の原因となります。(ヒューズの交換は、共通DCアダプタ01／03(別売)の取扱説明書をよくご確認ください。)

指定の充電用機器（別売）のケーブルを傷付けたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだケーブルは使用しないでください。感電・ショート・火災の原因となります。

充電端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

雷が鳴り出したら電源プラグに触れないようにしてください。落雷による感電などの原因となります。

お手入れをするときは、指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電やショートの原因となります。また、指定の充電用機器（別売）の電源プラグに付いたほこりは拭き取ってください。そのまま放置すると火災の原因となります。

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。火災、やけど、感電の原因となります。

車載機器などは、運転操作やエアーバッグなどの安全装置の妨げにならない位置に設置・配置してください。交通事故の原因となります。車載機器の取扱説明書に従って設置してください。

長時間使用しない場合は電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。感電・火災・故障の原因となります。

卓上ホルダや指定の充電用機器（別売）は防水性能を有していません。水やペットの尿など液体が直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用は絶対にしないでください。発熱・火災・感電の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には、直ちに電源プラグを抜いてください。

卓上ホルダを自動車内で使用しないでください。運転の妨げにより事故の原因となります。

必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

風呂場などの湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。感電や故障の原因となります。

濡れた手で指定の充電用機器（別売）を抜き差ししないでください。感電や故障の原因となります。

プラグをコンセントから抜く

指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜くときは、充電用機器を持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷し、発熱・発火・感電する原因となる場合があります。

禁止

共通DCアダプタ01／03(別売)は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。車のバッテリー消耗の原因となります。

■ au Micro IC Card (LTE)について

警告 **必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。**

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にau Micro IC Card (LTE)を入れないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

⚠注意 **必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。**

指示

au Micro IC Card (LTE)の取り付け・取り外しの際にご注意ください。手や指を傷付ける可能性があります。

指示

au Micro IC Card (LTE)は、当社指定以外の機器には使用しないでください。データの消失や故障の原因となります。
指定品については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

分解禁止

au Micro IC Card (LTE)を分解、改造しないでください。データの消失・故障の原因となります。

禁止

au Micro IC Card (LTE)を火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。溶損・発煙・データの消失・故障の原因となります。

禁止

au Micro IC Card (LTE)を火の中に入れたり、加熱したりしないでください。溶損・発煙・データの消失・故障の原因となります。

禁止

au Micro IC Card (LTE)のIC(金属)部分に不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失・故障の原因となります。

禁止

au Micro IC Card (LTE)を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。データの消失・故障の原因となります。

禁止

au Micro IC Card (LTE)を折ったり、曲げたり、重いものを載せたりしないでください。データの消失・故障の原因となります。

水濡れ禁止

au Micro IC Card (LTE)を濡らさないでください。データの消失・故障の原因となります。

禁止

au Micro IC Card (LTE)のIC(金属)部分を傷付けないでください。データの消失・故障の原因となります。

禁止

au Micro IC Card (LTE)はほこりの多い場所には保管しないでください。データの消失・故障の原因となります。

禁止

au Micro IC Card (LTE)保管の際には、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。データの消失・故障の原因となります。

指示

au Micro IC Card (LTE)は、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込むと、窒息や傷害などの原因となります。

取り扱い上のお願い

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。
よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、au Micro IC Card (LTE)、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重いものの下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
  また、外部機器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 本製品の防水性能(IPX5、IPX7相当)を発揮するために、外部接続端子カバー、背面カバー、au Micro IC Card (LTE)カバー、microSDメモリカードカバーをしっかりと取り付けた状態で、ご使用ください。
  ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本製品内部に水を浸入させたり、充電用機器、オプション品に水をかけたりしないでください。雨の中や水滴がついたままで外部接続端子カバーや背面カバー、au Micro IC Card (LTE)カバー、microSDメモリカードカバーの開閉は行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。
  調査の結果、これらの水濡れの浸入による故障と判明した場合、保証対象外となります。

- 極端な高温･低温･多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。)
  - 充電用機器
  - 変換ケーブル類

- 極端な高温･低温･多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。ただし、一時的な使用に限り、温度36℃～40℃の範囲で可能です。)
  - SHL21本体
  - au Micro IC Card (LTE)(SHL21本体装着状態)

- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。

- 本製品の充電端子、外部接続端子、イヤホンマイク端子および卓上ホルダの接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、掃除の際は強い力を加えて端子を変形させないでください。

- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、外装の印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

- 一般電話･テレビ･ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。

- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。

- 使用中、本製品が高温となった場合、本体保護のため一時的に画面の明るさを下げたり、一部機能を停止することがあります。

■本体について

- 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。

- キーやディスプレイの表面に爪や鋭利なもの、硬いものなどを強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因となります。
  タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの(爪／ボールペン／ピンなど)を押し付けたりしないでください。
  以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護フィルムやシールなどを貼っての操作
  - ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
  - 濡れた指または汗で湿った指での操作
  - 水中での操作

- 改造されたau電話は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。
  本製品に固有の認定および準拠マークに関する詳細（認証・認定番号含む）は、本製品で以下の操作を行うことで、ご確認いただくことができます。
  ホーム画面→［アプリ］→［設定］→［端末情報］→［技術基準適合証明］
  本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等を受けており、その証として、「技適マーク 〒」が本製品内で確認できるようになっております。認証情報については、本製品内の電子認証内容でご確認いただきますよう、お願いいたします。
  本製品のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 本製品は不正改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。
- 本製品に登録された連絡先・メール・ブックマークなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されたコンテンツデータ（有料・無料を問わない）などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- 撮影などした静止画／動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります（結露といいます）。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。

- ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- 外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部機器を接続するときは、端子に対して外部機器のコネクタやイヤホンプラグがまっすぐになるように抜き差ししてください。
- 外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収をおこなっております。
- 本製品のmicroSDメモリカードスロットには、microSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。
- microSDメモリカードの取り付け・取り外しの際に、必要以上の力を入れないでください。手や指を傷付ける場合があります。
- microSDメモリカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 送話口をおおって相手の方に声が伝わらないようにしても、相手の方に声が伝わりますのでご注意ください。
- ハンズフリー通話をご使用の際はスピーカーから大きな音が出る場合があります。耳から十分に離すなど、注意してご使用ください。
- 光センサーを指でふさいだり、光センサーの上にシールなどを貼ると、周囲の明暗に光センサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 近接センサーの上にシールなどを貼ると、センサーが誤動作し着信中や通話中にディスプレイの表示が常に消え、操作が行えなくなる場合がありますのでご注意ください。
- ディスプレイが破損した場合には、直ちにご使用を中止して、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。そのまま使用するとけがの原因となることがあります。
- ディスプレイやキーのある面にシールなどを貼ると、誤動作やご利用時間が短くなる原因となります。また、本製品が損傷するおそれがあります。
- テレビ(ワンセグ)視聴中など、テレビアンテナを伸ばしたり、立てた状態で電話に出る場合は、特にテレビアンテナの先端部分が周囲の方々へ危害など及ぼさないよう、またお客様の目に入らないよう取り扱いには十分ご注意ください。
- 本製品に磁気を帯びたものや金属製のストラップなどを近づけるとスピーカー部から音が鳴ることがありますが、故障ではありません。
- 外部接続端子カバー、au Micro IC Card (LTE)カバー、microSDメモリカードカバーを強く引っ張ったり、無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- 背面カバーを取り外す際、必要以上に力を入れないでください。けがや故障の原因となる場合があります。

- ポケットやかばんなどに入れる際は、必ずテレビアンテナを格納してください。また、テレビアンテナを故意に強く引っ張ったり曲げたりしないでください。傷や破損の原因となります。
- 直射日光下などの明るい場所ではディスプレイが見えにくい場合がありますが故障ではありません。

■ タッチパネルについて

- タッチ操作は指で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイへの傷の発生や、破損の原因となる場合があります。
- ディスプレイにシールやシート類（市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど）を貼らないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- 爪の先でタッチ操作をしないでください。爪が割れたり、突き指などけがの原因となる場合があります。
- ディスプレイ表面が汚れていたり、汗や水で濡れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。
- ポケットやかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

■ 内蔵電池について

- 夏期、閉めきった（自動車）車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では内蔵電池の容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、内蔵電池の寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 内蔵電池は充電後、本製品を使わなくても少しずつ放電します。長い間使わないでいると、内蔵電池が放電してしまっている場合があるため、使う前に充電することをおすすめします。
- 内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となりますので、以下の状態で保管しないでください。
  - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）
  - 電池残量なしの状態（本製品の電源が入らない程度消費している状態）
  - 高温多湿の状態
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。
- 内蔵電池は消耗品です。充電しても機能が回復しない場合は寿命ですのでご使用をおやめください。電池は内蔵型のため、auショップなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。
- 内蔵電池はご使用条件により、寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。
  これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■ 充電用機器について

- ご使用にならないときは、指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから外してください。
- 指定の充電用機器（別売）の電源コードを電源プラグおよび卓上ホルダに巻きつけないでください。感電、発熱、火災の原因となります。

- 充電用機器のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電、発熱、火災の原因となります。

■ au Micro IC Card (LTE)について

- au Micro IC Card (LTE)は、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますのでご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。
- au Micro IC Card (LTE)の取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどに、au Micro IC Card (LTE)を挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au Micro IC Card (LTE)のIC(金属)部分はいつもきれいな状態でご使用ください。お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)などで拭いてください。
- au Micro IC Card (LTE)にシールなどを貼らないでください。
- au Micro IC Card (LTE)の取り付け、取り外しでは、IC(金属)部分に触れないようにご注意ください。

■ カメラ機能について

- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。
- 本製品の故障・修理・その他の取り扱いによって、撮影した画像データが変化または消失することがあり、この場合、当社は変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失によって生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。
- 大切な撮影(結婚式など)をするときは、試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 販売されている書籍や、撮影の許可されていない情報の記録には使用しないでください。
- カメラのレンズに直射日光が当たる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。

■ 音楽／動画／テレビ(ワンセグ)機能について

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画およびテレビ(ワンセグ)を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています(自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります)。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与える場合がありますのでご注意ください。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れにご注意ください。

■ 著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。
  また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
  なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影した静止画などをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。
  ※控え作成の手段:連絡先のデータや音楽データ、撮影した静止画や動画など、重要なデータはmicroSDメモリカードに保存しておいてください。またはメールに添付して送信したり、パソコンに転送しておいてください。ただし、上記の手段でも控えが作成できないデータがあります。あらかじめ、ご了承ください。

ご利用いただく各種暗証番号について

各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。
ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

■ 暗証番号

使用例	① お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合 ② お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

■ セキュリティキー

使用例	電話帳制限などの設定/解除をする場合
初期値	1234

■ PINコード

使用例	第三者によるau Micro IC Card (LTE)の無断使用を防ぐ場合
初期値	1234

■ ロックNo.(NFC／おサイフケータイ ロック)

使用例	NFC／おサイフケータイ ロックを利用する場合
初期値	1234

プライバシーを守るための機能について

保存されているデータのプライバシーを守るために、本製品には次のような機能が用意されています。

- フォルダシークレット登録
- NFC／おサイフケータイ ロック
- 画面のロック
- 電話帳制限

PINコードについて

■PINコード

第三者によるau Micro IC Card (LTE)の無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力要否は入力不要な設定になっていますが、お客様の必要に応じてPINコードは4～8桁のお好きな番号、入力要否は入力必要な設定に変更できます。

■PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au Micro IC Card (LTE)が取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ･PiPitもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- 「PINコード」はデータの初期化を行ってもリセットされません。

memo

◎ PINコードがロックされた場合、セキュリティ確保のため本製品が再起動することがあります。

防水／防塵性能に関するご注意

正しくお使いいただくために、「防水／防塵性能に関するご注意」の内容をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障の原因となります。
実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、「防水／防塵性能に関するご注意」に記載されている内容を守らずにご使用になった場合など、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

■ 本製品の防水／防塵性能

本製品は、外部接続端子カバー、背面カバー、au Micro IC Card (LTE)カバー、microSDメモリカードカバーをしっかりと閉じた状態で、保護等級（JIS C 0920）IPX5相当※1、IPX7相当※2の防水性能およびIP5X相当※3の防塵性能を有しております（当社試験方法による）。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5リットル／分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。
※2 IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mのところに本製品を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。
※3 IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

■ 本製品が有する防水／防塵性能でできること

- 雨の中で傘をささずに通話ができます。（1時間あたり20mm未満の雨量）
- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水などの水道水以外の水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。
- 弱めの水流（6リットル／分以下）で常温（5℃～35℃）の水道水を使って本製品を洗うことができます。

■ 本製品のお取り扱いについて

- 外部接続端子カバー、背面カバー、au Micro IC Card (LTE)カバー、microSDメモリカードカバーをしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、水や粉塵が浸入する原因となります。
- 外部接続端子カバー、背面カバー、au Micro IC Card (LTE)カバー、microSDメモリカードカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用しないで、電源を切り、お近くのauショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。
- 本製品が濡れているときは、乾いた清潔な布で拭き取ってください。

- 手や本製品が濡れているときには、外部接続端子カバー、背面カバー、au Micro IC Card (LTE)カバー、microSDメモリカードカバーの開閉は絶対にしないでください。
- 常温(5℃～35℃)の真水・水道水にのみ対応しています。
- イヤホンは、端子部が濡れていたり、砂やほこりが付着した状態でご使用にならないでください。防水／防塵性能が損なわれるなど、故障の原因となります。
- カード抜き差し補助具をイヤホンマイク端子から外した状態でも、防水性能は保持されます。

■ 本製品の防塵性能について

- 本製品の防塵性能はIP5X相当の保護度合いを保証するものであり、砂浜などの砂の上に直接置くなどの利用方法に対して保証するものではありません。
- 塵埃が本製品に付着したときには、ただちに水で洗い流すなどして完全に塵埃を除去してからご使用ください。

■ 使用時のご注意

- 本製品に次のような液体をかけたり、つけたりしないでください。
  - ・石けん、洗剤、入浴剤を含んだ水
  - ・海水、プールの水
  - ・温泉、熱湯など
- 海水やプールの水、清涼飲料水などがかかったり、ほこり、砂、泥などが付着した場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、故障の原因となります。
- 砂や泥がきれいに洗い流せていない状態で使用すると、本製品に傷が付いたり、破損するなど故障の原因となります。
- 湯船やプールなどにつけないでください。また、水中で使用しないでください。(キー操作を含む。)
- 本製品は耐水圧設計ではありません。水道やシャワーなどで強い流水(6リットル／分を超える)を当てたり、水中に沈めたりしないでください。
- 結露防止のため、寒い場所から暖かい場所へ移動するときは本製品が常温になってから持ち込んでください。万一、結露が発生したときは、取れるまで常温で放置してください。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風(ドライヤーなど)を当てたりしないでください。
- コンロのわきや冷蔵庫の中など極端に高温・低温になるところに置かないでください。
- 送話口、スピーカー部の穴に水が入ったときは、一時的に音量が小さくなることがあります。十分に水抜きと乾燥を行ったうえでご使用ください。

- タッチパネルに水滴が付いている状態や濡れた指でタッチ操作を行った場合、正しく動作しないことがあります。
- 本製品は水に浮きません。
- 強い雨の中では使用しないでください。
- 濡れたまま放置しないでください。寒冷地で凍結するなど、故障の原因となります。
- 落下させるなど本製品に強い衝撃を与えたり、送話口、スピーカーなどを綿棒やとがったものでつつかないでください。本製品が変形したり、傷が発生したりすることなどにより、防水／防塵性能が損なわれることがあります。
- 砂浜、砂場などの砂の上や、泥の上に直接置かないでください。スピーカーなどに砂が入り、音が小さくなるおそれがあります。
- 同梱品（卓上ホルダ）やオプション品は、防水／防塵対応していません。同梱品の卓上ホルダに本製品を差し込んだ状態でワンセグ視聴などをする場合、指定のACアダプタ（別売）を接続していない状態でも、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。
- 外部接続端子カバー、背面カバー、au Micro IC Card (LTE)カバー、microSDメモリカードカバーに劣化、破損があるときは、防水／防塵性能を維持できません。このときは、お近くのauショップまでご連絡ください。

■ 防水／防塵性能を維持するために

■ 防水パッキンについて

外部接続端子カバー、au Micro IC Card (LTE)カバー、microSDメモリカードカバーの防水パッキンは、防水性能を維持するために重要な部品です。次のことにご注意ください。

- はがしたり、傷付けたりしないでください。
- 外部接続端子カバー、au Micro IC Card (LTE)カバー、microSDメモリカードカバーを閉めるときは、防水パッキンを挟まないように注意してください。また、外部接続端子カバー、au Micro IC Card (LTE)カバー、microSDメモリカードカバーの隙間、イヤホンマイク端子部に、先の尖ったものを差し込まないでください。
  ゴムパッキンが傷付き、水や粉塵が浸入する原因となることがあります。

- 防水／防塵性能を維持するため、異常の有無にかかわらず、2年に1回部品を交換することをおすすめします（有償）。部品の交換につきましては、お近くのauショップまでご連絡ください。

■ 充電時のご注意

卓上ホルダおよび指定の充電機器（別売）やオプション品は、防水／防塵性能を有していません。充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 本製品が濡れていないか確認してください。濡れている場合や水に濡れた後は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、同梱品の卓上ホルダに差し込んだり、外部接続端子カバーを開いたりしてください。
- 外部接続端子カバーを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとカバーを閉じてください。外部接続端子カバーからの水や粉塵の浸入を防ぐため、同梱品の卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
- 本製品が濡れている状態では絶対に充電しないでください。感電や回路のショートなどによる火災・故障の原因となります。
- 濡れた手で同梱品の卓上ホルダや指定の充電用機器（別売）に触れないでください。感電の原因となります。
- 同梱品の卓上ホルダ、指定の充電用機器（別売）およびオプション品は、水のかからない状態で使用してください。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りで使用しないでください。火災や感電の原因となります。

■ 本製品の洗いかた

本製品の表面に汚れ、ほこり、砂、清涼飲料水などが付着したときは、汚れを軽く布で除去し、やや弱めの水流（6リットル／分以下）で常温（5℃～35℃）の水道水を使い、蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。
外部接続端子カバーや背面カバーが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗った後は、水抜きをしてから使用してください。

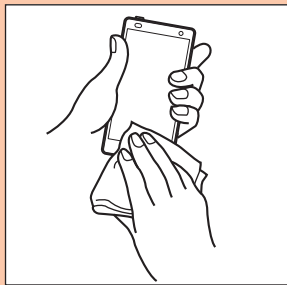
- 外部接続端子カバー、背面カバー、au Micro IC Card (LTE)カバー、microSDメモリカードカバーがきちんと閉まっていることを確認してから、洗ってください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。

- イヤホンマイク端子部は、特にほこりや砂などの汚れが付着しやすい部位です。汚れを残さないようにしっかりと洗い流してください。また、水洗い後は、十分に乾燥したことを確認したうえでご使用ください。砂や水滴が端子部に残ったままの状態でご使用になりますと、故障の原因となります。
- イヤホンマイク端子部を洗うときは、綿棒などの道具を使用したり、布を端子内部に押し込んだりしないでください。防水／防塵性能が損なわれるなど、故障の原因となります。
- 乾燥のために電子レンジには絶対入れないでください。内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させる原因となります。また、本製品を発熱・発煙・発火させたり、回路部品を破壊させる原因となります。
- 乾燥のために、ドライヤーの温風をあてたり、高温環境に放置しないでください。本製品の変形、変色、故障などの原因となります。

■水抜きのしかた

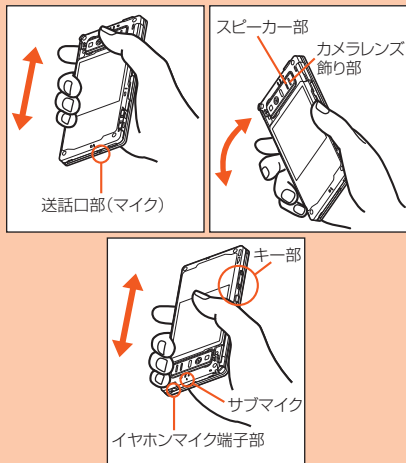
水に濡れた後は、必ず「イヤホンマイク端子部」「送話口部（マイク）」「スピーカー部」「カメラレンズ飾り部」「キー部」「サブマイク」などの水抜きを行ってください。

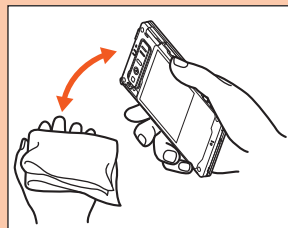
1 本製品表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る

- ストラップを付けている場合は、ストラップも十分乾かしてください。

2 背面カバーを取り外して、背面カバー裏側の水分を拭き取る

- 背面カバーの取り付け／取り外しについて詳しくは、「背面カバーの取り付け／取り外しかた」（▶P.41）をご参照ください。

3 本製品をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る

- 周囲の安全を確認して、本製品を落とさないようにしっかり握って振ってください。

4 **各部の隙間に入った水分を、乾いた清潔な布などに本製品を軽く押し当てて拭き取る**

- 各部の穴に水がたまっていることがありますので、開口部に布を当て、軽くたたいて水を出し、水や異物が入っていないことを確認してください。

5 **乾いた布などを下に敷き、2～3時間程度常温で放置し、乾燥させる**

- 水を拭き取った後に本製品内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- 隙間に溜まった水を、綿棒などで直接拭き取らないでください。

6 **背面カバーを取り付ける**

■ 水抜き後のご注意

水滴が付着したままで使用しないでください。

- 通話不良となったり、衣服やかばんなどを濡らしてしまうことがあります。
- イヤホンなどの端子部がショートするおそれがあります。
- 寒冷地では凍結し、故障の原因となることがあります。

Bluetooth®/無線LAN(Wi-Fi®)機能をご使用の場合のお願い

周波数帯について

本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能(2.4GHz帯)は、2.4GHz帯の2.402GHzから2.480GHzまでの周波数を使用します。

- Bluetooth®機能:2.4FH1/XX4

2.4FH1/XX4

本製品は2.4GHz帯を使用します。
FH1は変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。
XX4はその他方式を採用し、与干渉距離は約40m以下です。
移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

- 無線LAN(Wi-Fi®)機能:2.4DS/OF4

2.4DS/OF4

本製品は2.4GHz帯を使用します。
変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。
移動体識別装置の帯域を回避することが可能です。

本製品の2.4GHz帯の無線LAN(Wi-Fi®)で使用できるチャンネルは、1~13です。
利用可能なチャンネルは、国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth®についてのお願い

- 本製品のBluetooth®機能は日本国内およびFCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。一部の国/地域ではBluetooth®機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国/地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 無線LAN(Wi-Fi®)やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Bluetooth®機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、Bluetooth®機器により、通信速度や通信距離は異なります。

安全上のご注意

■ Bluetooth®機能ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

無線LAN(Wi-Fi®)についてのお願い

- 本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は、日本国内、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。一部の国/地域では無線LAN(Wi-Fi®)機能の使用が制限されます。
  海外でご利用になる場合は、その国/地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LAN(Wi-Fi®)アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

■ 2.4GHz帯無線LAN(Wi-Fi®)ご使用上の注意

本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能の使用周波数は、2.4GHz帯、5GHz帯です。2.4GHzの周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

■ 5GHz帯無線LAN（Wi-Fi®）機能ご使用上の注意

5GHzの周波数帯においては、5.2GHz／5.3GHz／5.6GHz帯（W52／W53／W56）の3種類のチャンネルを使用することができます。

- W52（5.2GHz帯／36、40、44、48ch）
- W53（5.3GHz帯／52、56、60、64ch）
- W56（5.6GHz帯／100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch）

5.2GHz／5.3GHz帯（W52／W53）を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。

memo

◎ 本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）対応機器との動作を保証するものではありません。

◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）によるデータ通信を行う際はご注意ください。

◎ 無線LAN（Wi-Fi®）は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

◎ Bluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎ Bluetooth®と無線LAN（Wi-Fi®）は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LAN（Wi-Fi®）のいずれかの使用を中止してください。

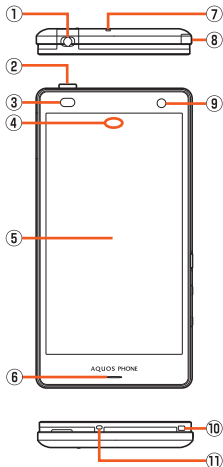
パケット通信料についてのご注意

- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にパケット通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額/割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 本製品でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、パケット通信は有料となります。
  ※Wi-Fi®接続の場合はパケット通信料はかかりません。

Google Play/au Market/アプリケーションについて

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、microSDメモリカードを取り付けていないと利用できない場合があります。
- アプリケーションの中には動作中スリープモードに入らなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリケーションやインストールしたアプリケーションはアプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

各部の名称と機能

■正面／上下側面

① **イヤホンマイク端子**

② **カード抜き差し補助具**

③ **近接センサー／光センサー**

近接センサーは通話中にタッチパネルの誤動作を防ぎます。

光センサーは周囲の明るさに合わせて、ディスプレイの明るさを調整します。

④ **受話部**

詳しくは「ダイレクトウェーブレシーバーについて」(▶P.41)をご参照ください。

⑤ **ディスプレイ(タッチパネル)**

⑥ **充電／着信ランプ**

⑦ **サブマイク**

「くっきりトーク」(▶P.63)を利用中に周囲の雑音を測定するためのマイクです。

⑧ **テレビアンテナ**

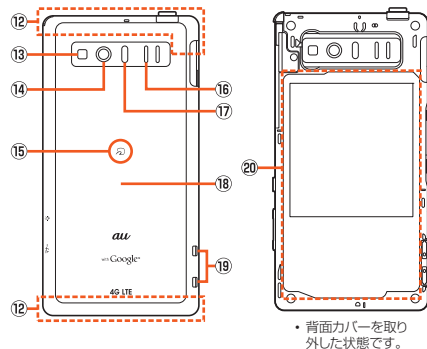
⑨ **インカメラ(レンズ部)**

⑩ **ストラップ取付口**

⑪ **送話口(マイク)**

通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。また、音声を録音するときにも使用します。使用中はマイクを指などでおおわないようにご注意ください。

■ 背面

・背面カバーを取り外した状態です。

⑫ **内蔵アンテナ部**
通話中や通信中は内蔵アンテナ部を手でおおわないでください。
また、内蔵アンテナ部にシールなどを貼らないでください。通話／通信品質が悪くなることがあります。

⑬ **モバイルライト**

⑭ **アウトカメラ（レンズ部）**

⑮ **FeliCaマーク**
NFC／おサイフケータイ®利用時にこのマークをリーダー／ライターにかざしてください。
IC通信で、データの送受信を行います。

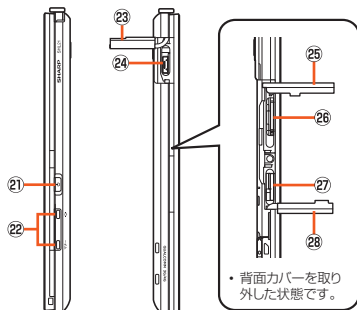
⑯ **スピーカー**

⑰ **赤外線ポート**

⑱ **背面カバー**

⑲ **充電端子**

⑳ **保護シート**
保護シートの内部には、電池や精密部品がありますので、衝撃を与えたり、保護シートをはがさないでください。
故障・発熱・発火・感電・傷害のおそれがあります。
さらに、保護シートをはがすと、防水／防塵性能が損なわれます。

■左右側面

㉑ [⏻]電源キー

スリープモードに移行します。
長押しすると、電源ON／OFFやマナーモードの設定などができます。

㉒ [☼][マナー]音量UP／DOWNキー

音量を調節します。
ウェルカムシート（ロック画面）で[☼]を長押しすると、モバイルライトが点灯します。
ホーム画面、ウェルカムシート（ロック画面）で[マナー]を長押しすると、マナーモードの設定／解除を切り替えられます。

㉓ 外部接続端子カバー

㉔ 外部接続端子

共通ACアダプタ04（別売）やmicroUSBケーブル01（別売）などを接続すると、接続機器の磁気が地磁気センサーに影響し、アプリケーションによっては正常に動作しないことがあります。ケーブル類を外してご使用ください。

㉕ au Micro IC Card (LTE)カバー

㉖ au Micro IC Card (LTE)スロット

㉗ microSDメモリカードスロット

㉘ microSDメモリカードカバー

memo

◎電池は本製品に内蔵されています。

カード抜き差し補助具について

◎誤飲で窒息するなど、事故や傷害などの原因となる場合がありますので、乳幼児の手の届く場所には置かないでください。使用しない場合は、イヤホンマイク端子に取り付けておいてください。

◎取り外した場合はなくさないようにご注意ください。

ダイレクトウェーブレシーバーについて

本製品は、ディスプレイ部を振動させて音を伝える「ダイレクトウェーブレシーバー」を搭載しています。受話部に穴はありませんが、通常通りご使用いただけます。

■ 耳への当てかた

下図のように、本製品の受話部付近を耳に当て、耳をおおうことで周囲の騒音を遮蔽し、音声がより聞き取りやすくなります。ご自身の聞こえかたや周囲の環境に合わせて本製品の位置を上下左右に動かし、調整してください。

memo

◎ 通話時に本製品の送話口（マイク）を指などでふさがないようにご注意ください。

◎ イヤホン（市販品）を接続している場合は、ダイレクトウェーブレシーバーを利用した音声ではなく、イヤホンからの音声に切り替わります。

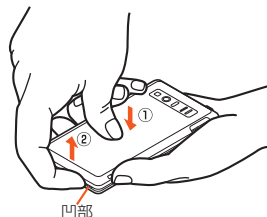
◎ ディスプレイにシールやシート類などを貼らないでください。受話音が聞き取りにくくなる場合があります。

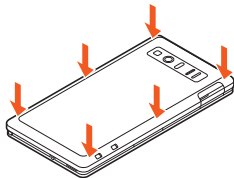
◎ 聞き取りやすさには個人差があります。

◎ 周囲の環境により、聞き取りやすさの効果は異なります。

背面カバーの取り付け／取り外しかた

■ 背面カバーを取り外す

1 背面カバーの中央部分を押さえながら（①）、本体の凹部に指先（爪）をかけて、矢印の方向に持ち上げる（②）

背面カバーを取り付ける

1 背面カバーを本体に合わせて装着してから、背面カバーの周囲を上からしっかりと押して、カバー全体に浮きがないことを確認する

au Micro IC Card (LTE)を利用する

au Micro IC Card (LTE)について

au Micro IC Card (LTE)にはお客様の電話番号などが記録されています。

本製品はau Micro IC Card (LTE)にのみ対応しております。au携帯電話、スマートフォンとau ICカードやmicro au ICカードを差し替えてのご利用はできません。

au Micro IC Card (LTE)

IC(金属)部分

memo

◎ au Micro IC Card (LTE)着脱時は、必ず共通ACアダプタ04(別売)などのmicroUSBプラグを本製品から抜いてください。

au Micro IC Card (LTE)が挿入されていない場合

au Micro IC Card (LTE)が挿入されていない場合は、次の操作を行うことができません。

- 電話をかける※／受ける
- メールの送受信
- 自局電話番号／自局メールアドレスの確認
- UIMカードロック設定

※ 110番(警察)・119番(消防機関)・118番(海上保安本部)への緊急通報や157(お客さまセンター)への発信もできません。

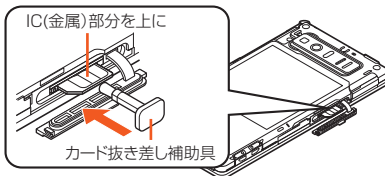
上記以外でも、お客様の電話番号などが必要な機能をご利用できない場合があります。

au Micro IC Card (LTE)を取り付ける

au Micro IC Card (LTE)の取り付けは、本製品の電源を切り、背面カバーとカード抜き差し補助具を取り外してから行います。

1 au Micro IC Card (LTE)カバーを開ける

2 カード抜き差し補助具を使って、au Micro IC Card (LTE)をau Micro IC Card (LTE)スロットにゆっくり差し込む

挿入方向を確認し、カチッと音がしてロックされるまで矢印の方向に差し込んでください。
また、ロックされる前にカード抜き差し補助具を離すとau Micro IC Card (LTE)が飛び出す可能性があります。ご注意ください。

3 au Micro IC Card (LTE)カバーを閉じ、背面カバーとカード抜き差し補助具を装着する

memo

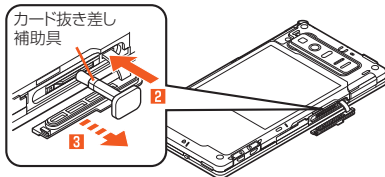
◎au Micro IC Card (LTE)の差し込みが不十分な場合は、正常に動作しないことがあります。

au Micro IC Card (LTE)を取り外す

au Micro IC Card (LTE)の取り外しは、本製品の電源を切り、背面カバーとカード抜き差し補助具を取り外してから行います。

1 au Micro IC Card (LTE)カバーを開ける

2 カード抜き差し補助具を使って、au Micro IC Card (LTE)を奥へゆっくり押し込む

カチッと音がしたら、au Micro IC Card (LTE)にカード抜き差し補助具を添えながら手前に戻してください。au Micro IC Card (LTE)が少し出てきますのでそのままカード抜き差し補助具を添えておいてください。強く押し込んだ状態でカード抜き差し補助具を離すと、勢いよく飛び出す可能性がありますのでご注意ください。

3 **au Micro IC Card (LTE)をまっすぐにゆっくりと引き抜く**

4 **au Micro IC Card (LTE)カバーを閉じ、背面カバーとカード抜き差し補助具を装着する**

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカードについて

microSDメモリカード(microSDHCメモリカード、microSDXCメモリカードを含む)を本製品に取り付けることにより、データを保存/移動/コピーすることができます。

memo

◎ microSDメモリカードにデータを保存する場合、1ファイルの最大サイズは2GBです。

◎ 他の機器でフォーマットしたmicroSDメモリカードは、本製品では正常に使用できない場合があります。ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[microSDと端末容量]→[microSD内データを消去]→[SDカード内データを消去]→ロックを解除→[すべて消去]と操作してフォーマットしてください。

◎ microSDメモリカード内のデータを再生/表示する場合は、ホーム画面→[アプリ]→[コンテンツマネージャー]と操作して、コンテンツマネージャーを利用してください。

◎ 著作権保護されたデータによっては、パソコンなどからmicroSDメモリカードへ移動/コピーは行えても本製品で再生できない場合があります。

◎ microSDXCメモリカードは、SDXC対応機器でのみご使用いただけます。万一、SDXC非対応の機器にmicroSDXCメモリカードを差し込んだ場合、フォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットはしないでください。
SDXC非対応の機器でmicroSDXCメモリカードをフォーマットした場合、microSDXCメモリカードからデータが失われ、異なるファイルシステムに書き換えられます。また、microSDXCメモリカード本来の容量で使用できなくなることがあります。

■取扱上のご注意

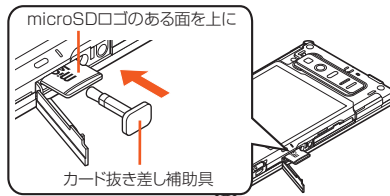
- microSDメモリカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- 本製品はmicroSD／microSDHC／microSDXCメモリカードに対応しています。対応のmicroSD／microSDHC／microSDXCメモリカードにつきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせいただくか、auホームページをご参照ください。

microSDメモリカードを取り付ける

microSDメモリカードは、電源を切り背面カバーとカード抜き差し補助具を取り外してから取り付けてください。

1 microSDメモリカードカバーを開ける

2 カード抜き差し補助具を使って、microSDメモリカードをmicroSDメモリカードスロットにゆっくり差し込む

挿入方向を確認し、カチッと音がしてロックされるまで矢印の方向に差し込んでください。
また、ロックされる前にカード抜き差し補助具を離すとmicroSDメモリカードが飛び出す可能性があります。ご注意ください。

3 microSDメモリカードカバーを閉じ、背面カバーとカード抜き差し補助具を装着する

memo

◎ microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。

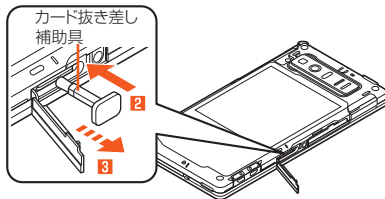
◎ microSDメモリカードの端子部には触れないでください。

microSDメモリカードを取り外す

microSDメモリカードは、電源を切り背面カバーとカード抜き差し補助具を取り外してから取り外してください。

1 microSDメモリカードカバーを開ける

2 **カード抜き差し補助具を使って、microSDメモリカードを奥へゆっくり押し込む**

カチッと音がしたら、microSDメモリカードにカード抜き差し補助具を添えながら手前に戻してください。microSDメモリカードが少し出てきますのでそのままカード抜き差し補助具を添えておいてください。強く押し込んだ状態でカード抜き差し補助具を離すと、勢いよく飛び出す可能性がありますのでご注意ください。

3 **microSDメモリカードをまっすぐにゆっくりと引き抜く**

4 **microSDメモリカードカバーを閉じ、背面カバーとカード抜き差し補助具を装着する**

memo

◎ microSDメモリカードを無理に引き抜かないでください。故障・データ消失の原因となります。

◎ microSDメモリカードにインストールされたアプリケーションは、microSDメモリカードを取り外すと利用できません。

◎ 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

充電する

充電について

お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

- 充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合は内蔵電池の寿命の可能性があります。ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[端末情報]→[端末の状態]→[電池の状態]と操作すると、内蔵電池の充電能力を確認できます。
- 充電中は充電／着信ランプが赤色に点灯し、電池マークに⚡が重なって表示されます。充電が完了すると、充電／着信ランプが消灯します。

memo

◎ 操作方法や使用環境によっては、本製品の内部温度が高くなり、熱くなることがあります。その際、安全のため充電が停止することがあります。

◎ カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間が長くなる場合があります。

◎ 指定の充電用機器(別売)を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電／放電を繰り返す場合があります。頻繁に充電を繰り返すと、内蔵電池の寿命が短くなります。

◎ 電池が切れた状態で充電すると、充電／着信ランプがすぐに点灯しないことがありますが、充電は開始しています。

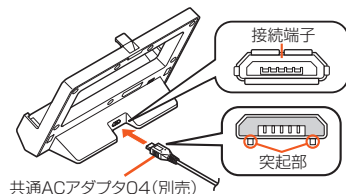
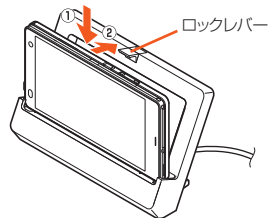
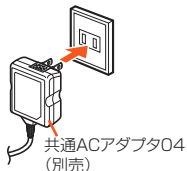
◎ 充電／着信ランプが赤色に点滅したときは、充電を中止して、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。

◎ 充電中、充電／着信ランプがまだ点灯しているときに充電をやめると、▭が表示されていても充電が十分にできていない場合があります。その場合は、ご利用可能時間が短くなります。

卓上ホルダと指定のACアダプタ(別売)を使って充電する

卓上ホルダと共通ACアダプタ04(別売)を接続して充電する方法を説明します。指定のACアダプタ(別売)については、「周辺機器のご紹介」(▶P.67)をご参照ください。

1 卓上ホルダの接続端子に共通ACアダプタ04(別売)のmicroUSBプラグを差し込む

microUSBプラグの向きを確認して、矢印の方向に差し込んでください。

2 本体の充電端子を下にして卓上ホルダの上に置き(①)、本体を倒してロックレバーにかける(②)

3 共通ACアダプタ04(別売)の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む

4 充電が終わったら、本体を卓上ホルダから取り外し、共通ACアダプタ04(別売)の電源プラグをコンセントから抜く

本体を取り外すときは卓上ホルダを押さえてください。また、卓上ホルダから共通ACアダプタ04(別売)のmicroUSBプラグを取り外すときは、まっすぐに引き抜いてください。

memo

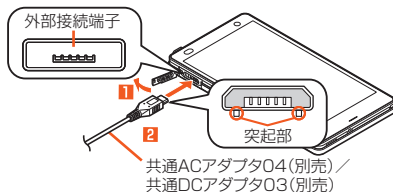
◎ 卓上ホルダをご利用の際は、必ず指定のACアダプタ(別売)を接続してください。パソコンやポータブル充電器など、指定以外のものを卓上ホルダに直接接続すると故障の原因となりますので、接続しないでください。

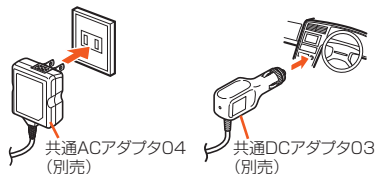
◎ 外部接続端子カバーがしっかりと閉じられていることを確認してください。(閉じかたが不十分な場合、充電できないことがあります。)

◎ 卓上ホルダで充電しながらmicroUSBケーブル01(別売)などを接続することはできません。

指定のACアダプタ(別売)/指定のDCアダプタ(別売)を使って充電する

共通ACアダプタ04(別売)/共通DCアダプタ03(別売)を接続して充電する方法を説明します。指定のACアダプタ(別売)/DCアダプタ(別売)については、「周辺機器のご紹介」(▶P.67)をご参照ください。

1 本製品の外部接続端子カバーを開ける

2 本製品の外部接続端子に共通ACアダプタ04(別売)/共通DCアダプタ03(別売)のmicroUSBプラグを、向きを確認して矢印の方向に差し込む

3 共通ACアダプタ04（別売）の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む／共通DCアダプタ03（別売）のプラグをシガーライタソケットに差し込む

4 充電が終わったら、本製品の外部接続端子から共通ACアダプタ04（別売）／共通DCアダプタ03（別売）のmicroUSBプラグをまっすぐに引き抜く

5 本製品の外部接続端子カバーを閉じる

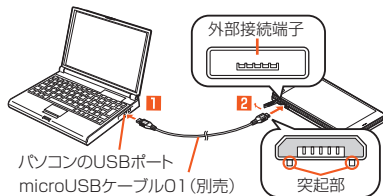
6 共通ACアダプタ04（別売）の電源プラグをコンセントから抜く／共通DCアダプタ03（別売）のプラグをシガーライタソケットから抜く

memo

◎ 本製品の電源を入れたままでも充電できますが、充電時間は長くなります。

パソコンを使って充電する

本製品をパソコンの充電可能なUSBポートに接続して充電する方法を説明します。

1 パソコンが完全に起動している状態で、microUSBケーブル01（別売）をパソコンのUSBポートに接続

2 本製品が完全に起動している状態で、microUSBケーブル01（別売）を本製品に接続

memo

◎USB充電を行った場合、指定のACアダプタ（別売）での充電と比べて時間が長くかかる場合があります。
◎本製品では、2種類のmicroUSBプラグの形状に対応しています。
◎本製品の外部接続端子にmicroUSBプラグを差し込む場合は、突起部を下にしてまっすぐに差し込んでください。microUSBプラグを誤った向きに差し込むと、本製品の外部接続端子が破損することがあります。
◎本製品の電源が入っていないときに接続すると、本製品が起動します。
◎電池が切れた状態で充電すると、充電／着信ランプが点灯しない場合があります。その場合は、指定のACアダプタ（別売）を使用して充電してください。

電源を入れる／切る

■電源を入れる

1 ⏻（2秒以上長押し）

memo

◎電源を入れてから「AQUOS PHONE」の表示が終了するまでの間は、タッチパネルの初期設定を行っているため、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。

■電源を切る

1 ⏻（2秒以上長押し）

2 [電源を切る]→[OK]

■再起動する

本製品の電源をいったん切り、再度起動します。

1 ⏻（2秒以上長押し）

2 [再起動]→[OK]

■強制的に電源を切る

本製品の電池は内蔵されており、取り外せません。強制的に電源を切るには、次の手順に従って操作してください。

1 ⏻＋マナー（12秒以上長押し）

memo

◎強制的に電源を切ると、保存されていないデータは消失します。本製品が操作できなくなったとき以外は行わないでください。

スリープモードについて

[⏻]を押すか、一定時間操作しないと画面が一時的に消え、スリープモードに移行します。

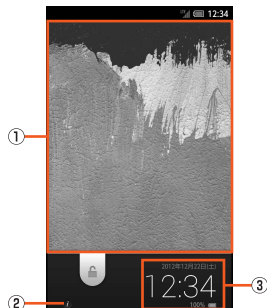
■スリープモードを解除する

1 スリープモード中に[⏻]

memo

◎スリープモードを解除する際は、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。

ウェルカムシート（ロック画面）について

スリープモードを解除するとウェルカムシート（ロック画面）が表示されます。

《ウェルカムシート（ロック画面）》

「🔓」を画面下部にスライドするとロックが解除されます。

「🔓」をタップ、ロングタッチ、または上方向にスライドするとショートカットが表示されます。

① **壁紙**

② **所有者情報キー**

「ロックとセキュリティ」の「所有者情報」の設定に沿ってテキストを表示します。

③ **インフォエリア**

左右にフリックすると、天気、株情報、メディア操作キー、日時に切り替えます。

タッチパネルの使いかた

本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

■タップ／ダブルタップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。

- 画面に表示された項目やアイコンを選択します。ブラウザなどでダブルタップすると、画面を拡大／縮小します。

■ロングタッチ

項目などに指を触れた状態を保ちます。

- コンテキストメニューの表示などを行います。

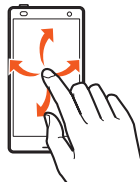
■スライド

画面内で表示しきれないときなど、画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。

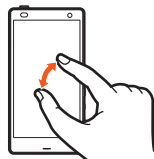
- 画面のスクロールやページの切り替えを行います。また、音量や明るさの調整時にゲージやバーを操作します。

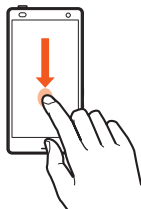
■フリック

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。

- ページの切り替えや文字のフリック入力などを行います。

■ピンチ

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。

- ブラウザなどで画面を拡大／縮小します。

■ ドラッグ

項目やアイコンを移動するときなど、画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。

タッチキーの使いかた

ナビゲーションバーに次のアイコンが表示され、タッチキーとして使用します。

アイコン	概要
	1つ前の画面に戻ります。
	ホーム画面を表示します。
	オプションメニューを表示します。
	アプリケーションの使用履歴を表示します。

3ラインホームを利用する

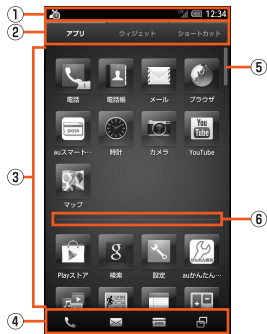
3ラインホームについて

3ラインホームはアプリケーションシート、ウィジェットシート、ショートカットシートで構成されたホーム画面です。各シートでアイコン／ウィジェット／ショートカットをタップすると機能を利用できます。

- シート切替タブで「アプリ」「ウィジェット」「ショートカット」をタップまたは、シートを左右にスライド／フリックすることで、各シートを切り替えることができます。

シートの切り替えイメージ

《アプリケーションシート》　《ウィジェットシート》　《ショートカットシート》

■3ラインホームの見かた

① **ステータスバー**

② **シート切替タブ**

シート切替タブをロングタッチし、移動する位置にドラッグして指を離すと、シート切替タブを移動できます。

③ **アプリケーションシート／ウィジェットシート／ショートカットシート**

④ **ナビゲーションバー**

⑤ **スクローラー**

画面をスクロールすると表示されます。表示されたスクローラーを上下にスライドして画面をスクロールさせることができます。

⑥ **セパレーター**

ホーム画面を上下にピンチアウトすると追加できます。削除する場合は、セパレーターを上下にピンチインします。

主なアプリケーション一覧

アプリケーション	概要
電話	電話をかけたり、履歴を確認できます。
auスマートパス	月額390円で500本以上のアプリが取り放題！その他にもお得なクーポンやプレゼント、写真のお預かりサービスやセキュリティソフトなど、安心･快適なスマホライフが楽しめるサービスです。
設定	設定メニューから各種機能を設定、管理します。
auかんたん設定	auかんたん設定は、auの便利な機能やサービスをご利用いただくための設定をサポートする設定アプリです。

アプリケーション	概要
※ 取扱説明書	『取扱説明書詳細版』に記載されている内容を確認することができます。 目次、索引、検索機能を利用して、使いたい機能の説明を探すことができます。 また、よく確認する説明にしおりを付けて検索しやすくすることもできます。
NFCメニュー	NFCサービスに対応するアプリの一覧表示やNFCロックの設定などのほか、各種設定を行うことができます。
au Wi-Fi接続ツール	au Wi-Fi SPOTの利用可能なスポットで簡単にWi-Fi®を利用できます。 また、「かんたん接続」搭載の無線LAN(Wi-Fi®)アクセスポイントと簡単にWi-Fi®設定できます。
Facebook	Facebookを利用できます。
Friends Note	ケータイ電話のアドレス帳とFacebookやTwitterなど複数のSNSの友人やメッセージを管理、投稿できるサービスです。

アプリケーション	概要
auテレビ.Gガイド	テレビ番組表の閲覧や、番組検索ができます。さらにワンセグ連携や遠隔録画予約機能がご利用いただけます。
LISMO Player	LISMO Playerを利用して音楽を再生したり、音楽情報を調べたりできます。また、調べた曲の試聴・購入も可能なアプリです。
au ID 設定	au IDを設定します。
au Market	auスマートパスのアプリ取り放題に対応したAndroidアプリをインストールできます。
うたパス	多彩な音楽チャンネルから流れてくる音楽を1人で楽しめるだけでなく、離れた友達と一緒に聴くことができるサービスです。
unlimited	100万曲の楽曲ラインナップが聴き放題となる、月額定額制の音楽サービスを利用できます。
3LM Security	本製品を盗難・紛失された場合に、本製品を遠隔操作でロックすることができます。
リモートサポート	スマートフォンの操作で困ったとき、お客様のスマートフォンの画面を共有し、お客様の操作をサポートするアプリです。

アプリケーション	概要
GREEマーケット	GREEで提供しているゲームや、コンテンツを探すことができるアプリです。サービスへのログインがなくても、手軽に探すことができます。
au災害対策	災害用伝言板や、緊急速報メール(緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報)、災害用音声お届けサービスを利用することができます。
auお客さまサポート	auケータイの契約内容や月々の利用状況などを簡単に確認できるアプリです。

※利用するにはダウンロード/インストールが必要です。

memo

◎アプリケーションアイコンをタップしてそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。

◎アイコンなどのデザインは、予告なく変更する場合があります。

◎上記以外にもアプリケーションが搭載されています。詳しくは、『取扱説明書アプリケーション』をご参照ください。

ステータスバーを利用する

アイコンについて

ステータスバーの左側には不在着信、新着メールや実行中の動作などをお知らせするお知らせアイコン、右側には本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。

■主なお知らせアイコン

アイコン	概要
	不在着信あり
	新着メールあり(メール)
	新着メールあり(PCメール)
	新着メールあり(Gmail)
	発信中、通話中、着信中
	保留中
	伝言メモあり
	本体(システム)の空き容量が約10%以下
	microSDメモリカード読み込み中
	USB接続中
	利用可能なアップデートあり
	ソフトウェア更新情報あり
	メジャーアップデート(OSアップデート)更新あり
	まとめられたアイコンあり

基本操作

memo

◎アイコンによっては件数が重なって表示されます。

■主なステータスアイコン

アイコン	概要
12:34	時刻
〜	電池レベル状態 〜 :残量表示 :残量なし • 充電中は電池マークにが重なって表示されます。
	機内モード設定中
〜	電波の強さ（受信電界） 〜 :レベル表示 :圏外 • ネットワークを示すアイコンが左上に表示されます。 • 通信中はが重なって表示されます。
	マナーモード状態 :通常マナー :ドライブマナー :サイレントマナー
	ハンズフリーで通話中
	通話中のマイクを「消音」に設定中
	伝言メモ設定中 :伝言メモなし :伝言メモあり（1〜9件） :伝言メモが10件

お知らせ／ステータスパネルを利用する

お知らせ／ステータスパネルでは、お知らせアイコンやステータスアイコンの確認や対応するアプリケーションの起動ができます。

また、マナーモードやベールビューなどを設定できます。

1 ステータスバーを下にスライド

《お知らせ／ステータスパネル》

① **機能ボタン**
よく使う機能の設定をワンタッチで切り替えることができます。

② **機能ボタン表示／非表示バー**
タップすると2行目以降の機能ボタンを表示／非表示することができます。

③ **LISMO Player操作エリア**
LISMO Playerで音楽を再生することができます。

④ **お知らせエリア**
本製品の状態やお知らせの内容を確認できます。情報によっては、タップすると対応するアプリケーションを起動できます。

⑤ **設定ボタン**
タップすると、本製品について、各種設定を行います。

⑥ **並べ替えボタン**
機能ボタンを並べ替えることができます。

⑦ **通知を消去**
タップすると通知がすべて消去されます。

⑧ **閉じるバー**
上にスライドするとお知らせ／ステータスパネルを非表示にします。

ソフトウェアキーボードを切り替える

1 **文字入力画面→[ ]→[入力方式を切替]→[QWERTYキーボードに切替]／[12キーボードに切替]**

文字入力画面の見かた

《文字入力画面(12キー)》

《文字入力画面(QWERTY)》

① **文字入力エリア**

② **入力候補リスト**

文字を入力して「通常変換」をタップすると、通常変換候補リストが表示されます。

予測変換を有効に設定している場合は、文字を入力すると予測変換候補リストが表示されます。つながり予測を有効に設定している場合は、入力が確定するとつながり予測候補リストが表示されます。

- 「 」をタップすると候補リストの表示エリアを拡大できます。元の表示に戻すには、「 」をタップします。

③ **逆トグルキー／戻すキー**

（↺）：同じキーに割り当てられた文字を逆の順に表示します。

（戻す）：文字入力確定後にタップして未確定の状態に戻すなど、直前の操作をキャンセルします。

④ **文字入力キー**

⑤ **カーソルキー**

カーソルを左／右に移動します。文末で右に移動すると、スペースを入力します。文字入力中／変換時は、文字の区切りを変更します。

⑥ **絵文字・記号・顔文字キー／カナ・英数キー**

（絵 記・顔）：絵文字／デコレーション絵文字／記号／顔文字一覧を表示します。

（カナ 英数）：入力したキーに割り当てられているカタカナ、英字、数字、予測される日付や時間が変換候補に表示されます。元の表示に戻すには、「（⊗）」をタップします。

⑦ **文字種キー**

文字種を切り替えると、表示が次のように変更されます。

（あA1）：漢字入力

（あA1）：半角英字入力

（あA1）：半角数字入力

（ｶﾅ）：半角カタカナ入力

（A）：全角英字入力

（1）：全角数字入力

（カ）：全角カタカナ入力

（区）：区点コード入力

⑧ **削除キー**

⑨ **設定キー／変換キー／スペースキー**

（🔧）：iWnn IMEメニューを表示します。

（通常 変換）：通常変換候補リストを表示します。

（␣）：スペースを入力します。

⑩ **確定キー／改行キー**

（確定）：入力中の文字を確定します。

（↵ 閉じる）：カーソルの位置で改行します。

⑪ **大文字・小文字キー／スペースキー**

（゛゜ 大⇔小）：入力した文字を大文字／小文字に切り替えたり、濁点／半濁点をつけたりします。

（A⇔a）：入力した英字を大文字／小文字に切り替えます。

（␣）：スペースを入力します。

⑫ **シフトキー**

シフトキーをタップすると、大文字／小文字入力を切り替えます。タップするたびに、表示が次のように変更されます。

：小文字入力

：大文字入力

：大文字入力ロック

また、数字入力時にタップすると、入力できる記号を切り替えられます。

⑬ **設定キー**

iWnn IMEメニューを表示します。

⑭ **スペースキー／変換キー**

：スペースを入力します。

：通常変換候補リストを表示します。

memo

◎ 通常変換候補リスト／予測変換候補リスト／つながり予測候補リストが表示されていない状態で「 」をタップすると、キーボードを非表示にすることができます。

フリック操作について

◎ 絵文字･記号･顔文字キー／カナ･英数キーを右にフリックすると、連携･引用アプリ一覧が表示されます。アプリケーションを選択すると起動することができます。

◎ 文字種キーを左右にフリックすると「漢字入力」「半角英字入力」「半角数字入力」を切り替えることができます。

◎ 設定キーをフリックすると、次の機能を利用できます。

／ ：QWERTYキーボードに切替／12キーボードに切替

：手書き入力

：音声入力

電話をかける

電話番号を入力して電話をかける

1 **ホーム画面→[アプリ]→[電話]**

2 **電話番号を入力**

一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。

3 **[発信]→通話**

4 **[通話終了]**

memo

◎「通話中」と表示されている場合でも、相手の方が電話を受けていないことがあります。相手の方が受けていることを確認してからお話しください。

◎発信中／通話中に画面をおおうと、画面が消灯します。

◎「1401」を付加して電話をかけた場合の通話料は、auのぷりペイドカードを購入し、ご登録された残高から引かれます。

◎送話口をおおっても、相手の方には声が伝わりますのでご注意ください。

◎「機内モード」を設定中でも、緊急通報番号（110、119、118）、お客さまセンター（157）へは電話をかけることができます。

◎通話中に他のアプリケーションを起動して、通話中画面に戻りたい場合は次の操作を行ってください。

- 「⌂」をタップしてホーム画面に戻り、「電話」を起動させて「通話画面に戻る」を選択
- ステータスバーを下にスライドして「通話中」を選択

■緊急通報位置通知について

本製品は、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客様の現在地（GPS情報）が緊急通報先に通知されます。

memo

◎警察（110）・消防機関（119）・海上保安本部（118）について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。

◎本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。

◎緊急通報番号（110、119、118）の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客様の現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。

◎GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい、地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。

◎GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。

◎ 警察･消防機関･海上保安本部への緊急通報の際には、必ずお客様の所在地をご確認のうえ、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。

◎ 緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。

電話番号入力画面のメニューを利用する

1 **ホーム画面→[アプリ]→[電話]→[☰]**

2

au お客様センター	157(お客さまセンター)に発信します。
SMS作成	SMSを作成します。
特番付加	電話番号に特番を付加します。
音声発信制限設定	電話の発信を制限するかどうかを設定します。 • 音声発信制限中でも、緊急通報番号や157(お客さまセンター)への発信は可能です。緊急通報番号へはローミング中でも発信が可能です。
設定	通話に関する設定をします。

通話中画面の操作

音量･音質	通話音量(相手の方の声の大きさ)を調整できます。また、｢くっきりトーク｣を利用すると、周囲の雑音を低減して相手の方が音声を聞き取りやすくします。
消音／消音解除	相手の方にこちらの声が聞こえないようにするかどうかを設定します。
数字キー	数字キーを表示します。プッシュ信号の送信や通話の追加ができます。
音声メモ	通話中の相手の方の音声と自分の音声を録音します。
スピーカー／スピーカーOFF	ハンズフリーで電話するかどうかを設定します。
電話帳	電話帳を表示します。

memo

くっきりトークについて

◎ くっきりトーク利用中はサブマイクを手でおおわないでください。雑音の測定が正しくできなくなります。

au電話から海外へかける(au国際電話サービス)

本製品からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例:本製品からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 ホーム画面→[アプリ]→[電話]

2 国際アクセスコード「001010」または「010」を入力

「0」をロングタッチすると、「+」が入力され、発信時に「001010」が自動で付加されます。

3 アメリカの国番号「1」を入力

4 市外局番「212」を入力

市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリア·モスクワなど一部の国や地域の固定電話などの例外もあります)。

5 相手の方の電話番号「123XXXX」を入力→[発信]

memo

◎ au国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、au国際電話サービスをご利用いただけません。

◎ ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開できます。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。

◎ 通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。

◎ ご利用を希望されない場合は、お申し込みによりau国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。
au国際電話サービスに関するお問い合わせ:
au電話から(局番なしの)**157**番(通話料無料)
一般電話から **0077-7-111**(通話料無料)
受付時間 毎日9:00〜20:00

電話を受ける

かかってきた電話に出る

1 着信中に「応答」を下にスライド

バックライト点灯中(ウェルカムシート(ロック画面)表示中を除く)に着信があった場合は、「応答」をタップします。

2 通話→[通話終了]

応答を保留する

1 着信中に「保留」を下にスライド

バックライト点灯中（ウェルカムシート（ロック画面）表示中を除く）に着信があった場合は、「保留」をタップします。

保留状態になり、相手の方に保留中であることを音声ガイダンスでお知らせします。

2 保留中に［応答］

保留が解除されます。

memo

◎保留中も、かけてきた相手の方には通話料がかかります。

◎一度保留を解除すると、もう一度保留にはできません。

◎日本国内でご利用の場合のみ、応答を保留にできます。

かかってきた電話にSMSを送る

1 着信中に「クイック返信」を下にスライド

バックライト点灯中（ウェルカムシート（ロック画面）表示中を除く）に着信があった場合は、「クイック返信」をタップします。

2 送信するメッセージを選択

「カスタムメッセージ…」をタップすると、SMSを作成してメッセージを送ることができます。

かかってきた電話が切れます。相手の方には音声ガイダンスでお知らせします。

memo

◎相手の方の電話番号が通知されない場合はクイック返信できません。また、通信環境によってはクイック返信できない場合があります。

着信中のメニューを利用する

1 着信中に［☰］

2

項目	説明
伝言メモ	伝言メモのメッセージで応答し、相手の方の伝言を録音します。
着信拒否	かかってきた電話が切れます。相手の方には音声ガイダンスでお知らせします。
着信転送	かかってきた電話に出ずに、転送先の電話番号へ転送します。
サイレント	着信音が消音になり、バイブレータや着信ランプを停止します。

memo

◎着信転送をした際に転送先が登録されていない場合、お留守番サービスを設定しているときはお留守番サービスに転送されます。お留守番サービスを停止しているときは転送されません。

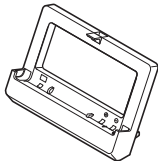
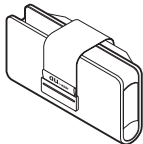
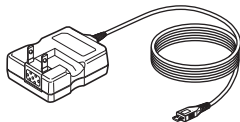
設定メニューを表示する

設定メニューから各種機能を設定、管理します。

1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]

項目	概要
プロフィール	プロフィールの確認や編集ができます。
音・バイブ・ランプ	マナーモードの設定、音声着信音、メディア再生音量などを変更できます。
壁紙・画面設定	画面の明るさの設定や文字フォントの切り替えなどを行います。
省エネ設定	エコ技設定が起動します。
au ID 設定	au IDを設定します。
microSDと端末容量	microSDメモリカードや本体内のメモリ容量を確認したり、microSDメモリカードの初期化などを行います。
電池	電池使用量を確認します。
通話	通話について設定します。
ホーム切替	利用するホームアプリを切り替えることができます。
クイックツールボックスEX	クイックツールボックスEXについて設定します。
歩数計	歩数計設定を行います。
アプリ	アプリケーションのアンインストールなどができます。
Wi-Fi	Wi-Fi®について設定します。
au Wi-Fi接続ツール	au Wi-Fi接続ツールが起動します。
ワイヤレス出力	ワイヤレス接続機能付きテレビとのワイヤレス接続を設定します。
Bluetooth	Bluetooth®について設定します。
データ使用	データ通信量について設定します。
ネットワーク設定	機内モード、ホームネットワーク設定など、ネットワークについて設定します。
アカウントと同期	アカウント管理やデータ同期に関する設定を行います。
位置情報サービス	位置情報サービスについて設定します。
ロックとセキュリティ	端末のロックやセキュリティについて設定します。
言語と文字入力	表示する言語の設定、文字入力関連について設定します。
オールリセット	データの初期化を行います。
外部接続	USB接続について設定します。
日付と時刻	日付と時刻について設定します。
ユーザー補助	ユーザー補助サービスを設定します。
開発者向けオプション	アプリケーションを開発するときに使用するツールなどを設定します。
端末情報	電波状態などの情報を確認できます。
初期設定	初期設定を行います。

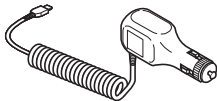
周辺機器のご紹介

■ 卓上ホルダ（SHL21PUA）

■ auキャリングケースFブラック（0105FCA）（別売）

■ 共通ACアダプタ01（0202PQA）（別売）※
共通ACアダプタ02（0203PQA）（別売）※
共通ACアダプタ03（0301PQA）（別売）
共通ACアダプタ04（0401PWA）（別売）
共通ACアダプタ03 ネイビー（0301PBA）（別売）
共通ACアダプタ03 グリーン（0301PGA）（別売）
共通ACアダプタ03 ピンク（0301PPA）（別売）
共通ACアダプタ03 ブルー（0301PLA）（別売）
AC Adapter MIDORI（0205PGA）（別売）※
AC Adapter AO（0204PLA）（別売）※
AC Adapter SHIRO（0204PWA）（別売）※
AC Adapter MOMO（0204PPA）（別売）※
AC Adapter CHA（0204PTA）（別売）※
AC Adapter REST（LS1P002A）（別売）※
AC Adapter RANGERS（LS1P003A）（別売）※
AC Adapter CHARGY（LS1P001A）（別売）※
AC Adapter WORLD OF ALICE（LS1P004A）（別売）※
AC Adapter KiiRoll（L01P005A）（別売）※
AC Adapter JUPITRIS（ホワイト）（L02P001W）（別売）
AC Adapter JUPITRIS（レッド）（L02P001R）（別売）
AC Adapter JUPITRIS（ブルー）（L02P001L）（別売）
AC Adapter JUPITRIS（ピンク）（L02P001P）（別売）
AC Adapter JUPITRIS（シャンパンゴールド）（L02P001N）（別売）

共通ACアダプタ04

- お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。

付録

- 共通ACアダプタ01は国内専用です。海外で充電する際は、必ず上記（共通ACアダプタ01以外）の海外で使用可能なACアダプタをご使用ください。

■ **共通DCアダプタ01（0201PEA）（別売）※**
共通DCアダプタ03（0301PEA）（別売）

共通DCアダプタ03

■ **ポータブル充電器01（0201PDA）（別売）※**
ポータブル充電器02（0301PFA）（別売）

■ **microUSBケーブル01（0301HVA）（別売）**
microUSBケーブル01 ネイビー（0301HBA）（別売）
microUSBケーブル01 グリーン（0301HGA）（別売）
microUSBケーブル01 ピンク（0301HPA）（別売）
microUSBケーブル01 ブルー（0301HLA）（別売）

■ **シャープmicroUSB-18芯（充電器）変換ケーブル01（SHI01HVA）（別売）**

■ **18芯-microUSB変換アダプタ01（0301QYA）（別売）**

※本製品でご使用になる場合は、シャープmicroUSB-18芯（充電器）変換ケーブル01（別売）や18芯-microUSB変換アダプタ01（別売）と接続する必要があります。

memo

◎最新の対応周辺機器につきましては、auホームページ（http://www.au.kddi.com/）にてご確認いただくか、お客さまセンターにお問い合わせください。

◎本製品は、ASYNC／FAX通信は非対応です。

◎上記の周辺機器は、auオンラインショップからご購入いただけます。
http://auonlineshop.kddi.com/

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認ください。

こんなときは	ご確認ください
電源が入らない	• 内蔵電池は充電されていますか？（▶P.46） • [⏻]を長押ししていますか？（▶P.50）
充電ができない	• 指定の充電用機器（別売）の電源プラグがコンセントまたはシガーライタソケットに確実に差し込まれていますか？（▶P.46） • 卓上ホルダや充電端子などが汚れていませんか？（▶P.20）
操作できない／画面が動かない／電源が切れない	• [⏻]と[ﾏﾅｰ]を同時に12秒以上押すと強制的に電源を切ることができます。しばらくしてから電源を入れ直してください。（▶P.50）
キー／タッチパネルの操作ができない	• 電源を切り、電源を入れ直してみてください。 • 電源は入っていますか？（▶P.50）

付録

こんなときは	ご確認ください
電池を利用できる時間が短い	• (圏外)が表示される場所での使用が多くありませんか?(▶P.57) • 内蔵電池が寿命となっていませんか?電池の状態を確認してください。(▶P.46) • 十分に充電されていますか?(▶P.46) • 使用していない機能を停止してください。(▶P.57)
タッチパネルで意図した通りに操作できない	• 手袋などをしたままで操作していませんか? • 爪の先で操作したり、異物を挟んだ状態で操作したりしていませんか? • タッチパネルの正しい操作方法をご確認ください。(▶P.52) • 再起動してください。(▶P.50)
画面をタップしたとき/キーを押したときの画面の反応が遅い	• 本製品に大量のデータが保存されているときや、本体とmicroSDメモリカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。
auICカード(UIM)エラーと表示される	• au Micro IC Card (LTE)が挿入されていますか?(▶P.42)
電話がかけられない	• au Micro IC Card (LTE)が挿入されていますか?(▶P.42) • 電話番号が間違っていませんか?(市外局番から入力していますか?)(▶P.62) • 電源は入っていますか?(▶P.50) • 電話番号入力後、「発信」を選択していますか?(▶P.62)

こんなときは	ご確認ください
電話がかかってこない	• 電波は十分に届いていますか?(▶P.57) • サービスエリア外にいませんか?(▶P.57) • 電源は入っていますか?(▶P.50) • au Micro IC Card (LTE)が挿入されていますか?(▶P.42)
相手の方の声が聞こえない	• 通話音量が最小に設定されていませんか?(▶P.63) • 受話部が耳に当たるようにしてください。
microSDメモリカードを認識しない/目的のデータが見つからない	• microSDメモリカードは正しく取り付けられていますか?(▶P.45) • 本体(メモリ)にデータを保存していませんか?microSDメモリカード以外に本体(メモリ)にもデータを保存できます。
電源が勝手に切れる	• 電池が切れていませんか?(▶P.46)
電源起動時のロゴ表示中に電源が切れる	• 電池が切れていませんか?(▶P.46)
(圏外)が表示される	• 電波は十分に届いていますか?(▶P.57) • サービスエリア外にいませんか?(▶P.57) • 内蔵アンテナ付近を指などでおおっていませんか?(▶P.39)
充電してくださいなどと表示された	• 電池残量がほとんどありません。(▶P.46)

こんなときは	ご確認ください
電話をかけたときに受話部から「プーッ、プーッ、プーッ…」と音がしてつながらない	• 電波は十分に届いていますか?(▶P.57) • サービスエリア外にいませんか?(▶P.57) • 無線回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直しください。

さらに詳しい内容については、お客さまセンターにお問い合わせください。

一般電話からは　0077-7-111

au電話からは　局番なしの157

ソフトウェアやOSを更新する

ソフトウェア更新をする

本製品は、ソフトウェア更新に対応しています。

1 **ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[端末情報]→[ソフトウェア更新]**

2

ソフトウェア更新	ソフトウェア更新が必要かどうかを確認します。「はい」を選択すると確認を開始します。ソフトウェア更新が必要な場合は、ソフトウェア更新用データをダウンロードすることができます。
自動問い合わせ設定	ソフトウェア更新用データの有無を定期的に確認するかどうかを設定します。

■ ご利用上の注意

- パケット通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。
- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター(157/通話料無料)までお問い合わせください。また、SHL21をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要なSHL21をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- 更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- ソフトウェア更新を実行すると、更新前と更新後に本製品を再起動します。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit(一部ショップを除く)にお持ちください。

- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新に失敗します。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ソフトウェアを更新しても、本製品に登録された各種データ（電話帳、メール、静止画、ミュージックデータなど）や設定情報は変更されません。ただし、本製品の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- ソフトウェアが更新された後で、自動的に次の更新用ソフトウェアのダウンロードが開始される場合があります（連続更新）。
- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

ソフトウェア更新実行中は、以下のことは行わないでください

- ソフトウェアの更新中は、移動しないでください。

ソフトウェア更新実行中にできない操作について

- ソフトウェアの更新中は操作できません。110番（警察）、119番（消防機関）、118番（海上保安本部）、157番（お客さまセンター）へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。

メジャーアップデート（OSの更新）をする

メジャーアップデートとは、本製品のOSを更新する機能です。

- あらかじめmicroSDメモリカードを取り付けておいてください。

1 **ホーム画面→［アプリ］→［設定］→［端末情報］→［メジャーアップデート］**

2

アップデートの確認	手動でアップデートの有無を確認します。
アップデート実行	Wi-Fi®を利用してOSのアップデートを実行します。
アップデートの自動確認	アップデートの有無を定期的に自動で確認するかどうかを設定します。

アフターサービスについて

■修理を依頼されるときは

修理については安心ケータイサポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている＜無償修理規定＞に基づき修理いたします。

保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

memo

◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

◎ 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのau電話は、再生修理した上で交換用携帯電話機として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。

■補修用性能部品について

当社はこのSHL21本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後6年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■安心ケータイサポートプラスについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポートプラス」をご用意しています（月額399円、税込）。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細については、auホームページをご確認いただくか、安心ケータイサポートセンターへお問い合わせください。

memo

◎ ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。

◎ ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。

◎ 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。

◎ au電話を譲渡・承継された場合、安心ケータイサポートプラスの加入状態は譲受者に引き継がれます。

◎ 機種変更・端末増設などにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「安心ケータイサポートプラス」は自動的に退会となります。

◎ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■au Micro IC Card (LTE)について

au Micro IC Card (LTE)は、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

■アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記の窓口へお問い合わせください。

お客さまセンター(紛失・盗難時の回線停止のお手続き、操作方法について)

一般電話からは　フリーコール **0077-7-113**(通話料無料)
au電話からは　局番なしの**113**(通話料無料)

安心ケータイサポートセンター(紛失・盗難・故障について)

一般電話/au電話からは
フリーコール **0120-925-919**(通話料無料)
受付時間　9:00～21:00(年中無休)

■auアフターサービスの内容について

サービス内容	安心ケータイサポートプラス会員	安心ケータイサポートプラス非会員
交換用携帯電話機お届けサービス(自然故障:1年目)	無料	補償なし
交換用携帯電話機お届けサービス(自然故障:2年目以降)	お客様負担額 1回目:5,250円 2回目:8,400円	補償なし
交換用携帯電話機お届けサービス(部分破損、水濡れ、全損、盗難、紛失)	お客様負担額 1回目:5,250円 2回目:8,400円	補償なし
預かり修理(自然故障:1年目)	無料	無料
預かり修理(自然故障:2年目以降)	無料(3年保証)	実費負担
預かり修理(部分破損)	お客様負担額 上限5,250円	実費負担
預かり修理(水濡れ、全損、盗難、紛失)	補償なし	補償なし (機種変更対応)

※金額はすべて税込

memo

交換用携帯電話機お届けサービス

◎ au電話がトラブルにあわれた際、お電話いただくことでご指定の送付先に交換用携帯電話機(同一機種・同一色)をお届けします。故障した今までお使いのau電話は、交換用携帯電話機がお手元に届いてから14日以内にご返却ください。

◎ 本サービスをご利用された日を起算日として、1年間に2回までご利用可能です。本サービス申し込み時において過去1年以内に本サービスのご利用がない場合は1回目、ご利用がある場合は2回目となります。

※ 詳細はauホームページでご確認ください。

預かり修理

◎ 水濡れ・全損はこの対象とはなりません。

◎ お客様の故意・改造(分解改造・部品の交換・塗装など)による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

◎ 外装ケースの汚れや傷、塗装の剥れなどによるケース交換は割引の対象となりません。

主な仕様

ディスプレイ	約4.7インチ、約1,677万色、S-CG Silicon液晶、720×1,280(HD)
質量	約148g(内蔵電池含む)
サイズ(幅×高さ×厚さ)	約68mm×130mm×11.2mm(最厚部約11.8mm)
CPU	MSM8960 1.5GHz デュアルコア
メモリ(内蔵(ROM))※1	約16GB
連続通話時間(国内)	約910分
連続通話時間(海外(GSM))	約700分
連続通話時間(海外(CDMA))※2	約910分(アメリカ本土/中国本土/ハワイ)
連続待受時間(国内)	約570時間(LTEを利用しているとき) 約610時間(3Gを利用しているとき)
連続テザリング時間	約330分(WAN側LTE) 約590分(WAN側3G)
連続待受時間(海外(GSM))	約520時間
連続待受時間(海外(CDMA))※2	約460時間(アメリカ本土/中国本土) 約570時間(ハワイ)
充電時間	卓上ホルダ使用時:約240分 共通ACアダプタ04(別売)使用時:約220分 共通DCアダプタ03(別売)使用時:約340分
ワンセグ連続視聴可能時間※3	約9時間20分(イヤホン) 約8時間40分(スピーカー)
撮影素子	**アウトカメラ** CMOSイメージセンサー **インカメラ** CMOSイメージセンサー
有効画素数	**アウトカメラ** 約1,312万画素 **インカメラ** 約124万画素

静止画の撮影サイズ／ズーム倍率・段階	**アウトカメラ** VGA：480×640／4.0倍ズーム・13段階 HD：720×1,280／4.0倍ズーム・13段階 FULL HD：1,080×1,920／4.0倍ズーム・13段階 3M：1,536×2,048／4.0倍ズーム・13段階 QFHD：2,160×3,840／4.0倍ズーム・13段階 13M：3,096×4,128／4.0倍ズーム・13段階 **インカメラ** VGA：480×640／4.0倍ズーム・13段階 HD：720×1,280／4.0倍ズーム・13段階 1.2M：960×1,280／4.0倍ズーム・13段階
動画の撮影サイズ／ズーム倍率・段階／撮影時間※4	**アウトカメラ** QVGA：320×240／4.0倍ズーム・13段階／最大約90分 VGA：640×480／4.0倍ズーム・13段階／最大約90分 HD：1,280×720／4.0倍ズーム・13段階／最大約45分 FULL HD：1,920×1,080／4.0倍ズーム・13段階／最大約16分 **インカメラ** QVGA：320×240／4.0倍ズーム・13段階／最大約90分 VGA：640×480／4.0倍ズーム・13段階／最大約90分 HD：1,280×720／4.0倍ズーム・13段階／最大約45分
Bluetooth®機能	通信方式：Bluetooth®標準規格Ver.4.0 出力：Bluetooth®標準規格Power Class2 通信距離※5：見通しの良い状態で10m以内 対応Bluetooth®プロファイル※6：HSP(Headset Profile)、HFP(Hands-Free Profile)、A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)、AVRCP(Audio／Video Remote Control Profile) Ver.1.3、OPP(Object Push Profile)、SPP(Serial Port Profile)、PBAP(Phone Book Access Profile)※7、HID(Human Interface Device Profile)、HDP(Health Device Profile)、PAN(Personal Area Networking Profile)、PXP(Proximity Profile)※8※9、FMP(Find Me Profile)※8※9、ANP(Alert Notification Profile)※8※9、PASP(Phone Alert Status Profile)※8※9、TIP(Time Profile)※8、DUN(Dial-up Networking Profile)※10 使用周波数帯：2.4GHz帯(2.402GHz～2.480GHz)
ネットワーク環境	無線LAN(Wi-Fi®)機能：IEEE802.11a/b/g/n(2.4GHz／5GHz)準拠
インターフェース	microUSB端子、3.5φ(4極)イヤホンマイク端子(対応イヤホン：3極ヘッドホン(Lch／Rch／GND)、4極マイク付きイヤホン(Lch／Rch／GND／MIC))

※1 データとアプリケーションで保存領域を共有しているため、本体内の保存可能容量はアプリケーションの使用容量により減少します。
※2 対象国は2012年9月時点

付録

※3 使用条件により連続視聴可能時間は変わります。
※4 撮影状況、保存している他のデータの容量などによって変わります。また、ご使用になられる温度環境・使用条件によっては撮影時間が減少します。
※5 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
※6 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。
※7 電話帳データの内容によっては、相手側の機器で正しく表示されない場合があります。
※8 Bluetooth®標準規格Ver.4.0に対応したプロファイルとなります。
※9 本機のソフトウェアアップデートにより対応予定です。
詳しくはSH DASHサポートページをご参照ください。
http://k-tai.sharp.co.jp/support/a/shl21/
※10 ご利用いただくには「カーナビデータ通信設定」アプリが必要です。「カーナビデータ通信設定」アプリは［auポータル］→［メニューリスト］からダウンロードしてください。一部のカーナビゲーションシステムのみに対応しています。ご利用にあたっては、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。

memo

◎ 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種【SHL21】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。
この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.357W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。KDDI推奨のauキャリングケースFブラック（0105FCA）（別売）を用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します(※2)。
KDDI推奨のauキャリングケースFブラック（0105FCA）（別売）をご使用にならない場合には、身体から1.5cm以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
(http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm)
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、以降に記載の各ホームページをご参照ください。

○ 総務省のホームページ:
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
○ 一般社団法人電波産業会のホームページ:
http://www.arib-emf.org/index02.html
○ auのホームページ:
http://www.au.kddi.com/
○ シャープのホームページ:
http://www.sharp.co.jp/products/menu/phone/cellular/sar/index.html

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、2010年3月に国際規格(IEC62209-2)が制定されました。国の技術基準については、2011年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

CE Declaration of Conformity

CE ⓘ

In some countries/regions including Europe, there are restrictions on the use of 5GHz WLAN that may limit the use to indoors only. If you intend to use 5GHz WLAN on the device, check the local laws and regulations beforehand.

Hereby, Sharp Telecommunications of Europe Ltd, declares that this SHL21 is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.
A copy of the original declaration of conformity can be found at the following Internet address:
http://www.sharp.co.jp/k-tai/

■Mobile Light

Do not point the illuminated light directly at someone's eyes.

Be especially careful not to shoot small children from a very close distance.
Do not use Mobile light near people's faces. Eyesight may be temporarily affected leading to accidents.

■AC Adapter

Any AC adapter used with this handset must be suitably approved with a 5Vdc SELV output which meets limited power source requirements as specified in EN/IEC 60950-1 clause 2.5.

Battery - CAUTION

Use specified Charger only.
Non-specified equipment use may cause malfunctions, electric shock or fire due to battery leakage, overheating or bursting.

The battery is embedded inside the product. Avoid removing the embedded battery since this may cause overheating or bursting.

Do not dispose of the product with ordinary refuse. Take the product to an au Shop, or follow the local disposal regulations.

Charge battery in ambient temperatures between 5°C and 35°C; outside this range, battery may leak/overheat and performance may deteriorate.

Loudness warning

Excessive sound pressure from earphones and headphones can cause hearing loss.

Headphone Signal Level

The maximum output voltage for the music player function, measured in accordance with EN 50332-2, is 24.5 mV.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.
The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 0.385 W/kg※.
As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.
The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head.

※ The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.

Highest SAR value:

Model	CDMA SHL21
FCC ID	APYHRO00178
At the Ear	0.646 W/kg
On the Body	0.319 W/kg

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found at http://www.fcc.gov/oet/fccid/ under the Display Grant section after searching on the corresponding FCC ID (see table above).

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at http://www.fcc.gov/.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

■商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、シャープ株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。

- 本製品のBluetooh ソフトウェア･スタックは、株式会社東芝が開発したBluetooth® Stack for Embedded Systems Spec 5.0を搭載しております。
- Wi-Fi®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。

付録

- Wi-Fi Protected Setup™およびWi-Fi Protected SetupロゴはWi-Fi Alliance®の商標です。
  The Wi-Fi Protected Setup Mark is a mark of the Wi-Fi Alliance.

- Wi-Fi Direct™はWi-Fi Alliance®の商標です。
- 「 AOSS™ 」は株式会社 バッファローの商標です。

- Microsoft® Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Microsoft® Excel®、Microsoft® PowerPoint®、Windows Media®、Exchange®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft® Word、Microsoft® Officeは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。
- 音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote®により提供されます。
  Gracenoteは、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。
  詳細については、次のWebサイトをご覧ください:
  www.gracenote.com
  GracenoteからのCDおよび音楽関連データ:Copyright © 2000 - present Gracenote.
  Gracenote Software:Copyright 2000 - present Gracenote.
  この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の1つまたは複数を実践している可能性があります:#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。
  一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許(#6,304,523)用にOpen Globe,Inc.から提供されました。
  GracenoteおよびCDDBはGracenoteの登録商標です。
  Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴはGracenoteの商標です。
  Gracenoteサービスの使用については、次のWebページをご覧ください:www.gracenote.com/corporate

- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- 「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。

- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
  FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- TwitterおよびTwitterロゴはTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- 「mixi」は、株式会社ミクシィの登録商標です。
- Google、Google ロゴ、Android、Android ロゴ、Google Play™、Google Play ロゴ、Google+、Google+ ロゴ、Gmail™、Gmail ロゴ、カレンダー ロゴ、Google マップ™、Google マップ ロゴ、Google トーク™、Google トーク ロゴ、Google Chrome™、Google Chrome ロゴ、Google 音声検索™ロゴ、Picasa™、Picasa ロゴ、YouTubeおよびYouTubeロゴは、Google Inc. の商標または登録商標です。
- Skype、関連商標およびロゴ、「S」記号はSkype Limited社の商標です。
- 「jibe」はJibe Mobile株式会社の商標です。
- 「GREE」は、日本で登録されたグリー株式会社の登録商標または商標です。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの登録商標です。
- TRENDMICRO、およびウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
- Copyright © 2010 - Three Laws of Mobility. All Rights Reserved.

- The "RSA Secure" AND "Genuine RSA" logos are trademarks of RSA Data Security, Inc.

- DLNA®、DLNAロゴおよびDLNA CERTIFIED™は、Digital Living Network Alliance の商標です。
  DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
  本機のDLNAの認定はシャープ株式会社が取得しました。

- OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

- 「着うた®」「着うたフル®」「着うたフルプラス®」は株式会社ソニー･ミュージックエンタテインメントの登録商標です。
- 「ベールビュー」「ベストセレクトフォト」「笑顔フォーカスシャッター」「振り向きシャッター」「AQUOS」「AQUOS PHONE」「SERIE」「ファミリンク」「FAMILINK」「エコ技」マークおよび「エコ技」「ダイレクトウェーブレシーバー」「アウトドアビュー」「おまかせアルバム」「ワンタッチシャッター」「GALAPAGOS」「SH SHOW」「CG Silicon」「LCフォント」「LCFONT」およびLCロゴマークはシャープ株式会社の登録商標または商標です。

- ドキュメントビューアはDataViz社のDocuments To Goを搭載しております。
  © 2011 DataViz, Inc. and its licensors. All rights reserved.
  DataViz, Documents To Go and InTact Technology are trademarks or registered trademarks of DataViz, Inc.
- PhotoScouter®は株式会社モルフォの登録商標です。
- MyScript® Stylus Mobileは、ビジョン･オブジェクツS.A.(ビジョンオブジェクツ)の商標です。
  MyScript® Stylus Mobile is a trademark of VISION OBJECTS.
- コンテンツ所有者は、Microsoft PlayReady™コンテンツアクセス技術によって著作権を含む知的財産を保護しています。本製品は、PlayReady技術を使用してPlayReady保護コンテンツおよびWMDRM保護コンテンツにアクセスします。本製品がコンテンツの使用を適切に規制できない場合、PlayReady保護コンテンツを使用するために必要な本製品の機能を無効にするよう、コンテンツ所有者はMicrosoftに要求することができます。無効にすることで保護コンテンツ以外のコンテンツや他のコンテンツアクセス技術によって保護されているコンテンツが影響を受けることはありません。コンテンツ所有者はコンテンツへのアクセスに際し、PlayReadyのアップグレードを要求することがあります。アップグレードを拒否した場合、アップグレードを必要とするコンテンツへのアクセスはできません。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。
  iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2012 All Rights Reserved.
  iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2012 All Rights Reserved.

- Powered by emblend Copyright 2009-2010 Aplix Corporation. All rights reserved.
  emblendは、日本における株式会社アプリックスの製品名です。
- 本製品には株式会社モリサワの書体、新ゴ Mを搭載しています。
  「モリサワ」「新ゴ」は、株式会社モリサワの登録商標または商標です。
- Portions Copyright ©2004 Intel Corporation
- aptXはCSR plc.の登録商標です。
- 本製品には、絵文字画像として株式会社NTTドコモから利用許諾を受けた絵文字が含まれています。

■ オープンソースソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License(GPL) 、GNU Lesser General Public License(LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。
  当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、ホーム画面から[アプリ]→[設定]→[端末情報]→[法的情報]→[オープンソースライセンス]をご参照ください。
- GPL、LGPL、Mozilla Public License(MPL)に基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
  https://sh-dev.sharp.co.jp/android/modules/oss/

■ OpenSSL License

【OpenSSL License】

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■Windowsの表記について

本書では各OS(日本語版)を以下のように略して表記しています。

- Windows 8は、Microsoft® Windows® 8、Microsoft® Windows® 8 Pro、Microsoft® Windows® 8 Enterpriseの略です。
- Windows 7は、Microsoft® Windows® 7(Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate)の略です。
- Windows Vistaは、Microsoft® Windows Vista®(Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate)の略です。
- Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

■Gracenote®エンドユーザー使用許諾契約書

本ソフトウエア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc.(以下「Gracenote」とする)から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウエア製品または本電器製品は、Gracenote社のソフトウェア(以下「Gracenoteソフトウェア」とする)を利用し、音楽CDや楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報(以下「Gracenoteデータ」とする)などの音楽関連情報をオンラインサーバー或いは製品に実装されたデータベース(以下、総称して「Gracenoteサーバー」とする)から取得するとともに、取得されたGracenoteデータを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウエア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外にGracenoteデータを使用することはできません。

お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、GracenoteソフトウェアやGracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、またはGracenoteサーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenoteは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc.が本契約上の権利をGracenoteとして直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenoteのサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenoteサービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenoteのサービスに関するGracenoteプライバシーポリシーを参照してください。

Gracenoteソフトウェアと Gracenoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenoteは、Gracenoteサーバーにおける全てのGracenoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。GracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーにエラー、障害のないことや、或いはGracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenoteは、将来Gracenoteが提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenoteは、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

- **Gracenoteは、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenoteは、お客様によるGracenoteソフトウェアまたは任意のGracenoteサーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenoteは結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。**

■その他

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。

本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。

- MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画(以下、MPEG-4 Video)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA. LLCにお問い合わせください。

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(ii)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および/またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
http://www.mpegla.comをご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)VC-1規格準拠のビデオ(以下「VC-1ビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(ii)VC-1ビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および/またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
http://www.mpegla.comをご参照ください。

This product is licensed under the MPEG-4 Visual Patent Portfolio License for the personal and non-commercial use of a consumer to (i) encode video in compliance with the MPEG-4 Video Standard ("MPEG-4 Video") and/or (ii) decode MPEG-4 Video that was encoded by a consumer engaged in a personal and non-commercial activity and/or was obtained from a licensed video provider. No license is granted or implied for any other use. Additional information may be obtained from MPEG LA. See http://www.mpegla.com.
This product is licensed under the MPEG-4 Systems Patent Portfolio License for encoding in compliance with the MPEG-4 Systems Standard, except that an additional license and payment of royalties are necessary for encoding in connection with (i) data stored or replicated in physical media which is paid for on a title by title basis and/or (ii) data which is paid for on a title by title basis and is transmitted to an end user for permanent storage and/or use. Such additional license may be obtained from MPEG LA, LLC. See http://www.mpegla.com for additional details.

■ お詫びと訂正 ■

このたびは、SHL21をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
SHL21取扱説明書の記載内容に誤りがございましたので、
お詫び申し上げますとともに、以下の内容を訂正させていただきます。

● 主な仕様(75ページ表内)

(誤)

静止画の撮影サイズ/ズーム倍率・段階	**インカメラ** VGA:640×480/4.0倍ズーム・13段階

▶

(正)

静止画の撮影サイズ/ズーム倍率・段階	**インカメラ** VGA:480×640/4.0倍ズーム・13段階

● 主な仕様(75ページ表内)

(誤)

Bluetooth®機能	･･･PXP(Proximity Profile)※8、FMP(Find Me Profile)※8、ANP(Alert Notification Profile)※8、PASP(Phone Alert Status Profile)※8、TIP(Time Profile)※8、DUN(Dial-up Networking Profile)※9 使用周波数帯:2.4GHz帯(2.402GHz〜2.480GHz)

▶

(正)

Bluetooth®機能	･･･PXP(Proximity Profile)※8※9、FMP(Find Me Profile)※8※9、ANP(Alert Notification Profile)※8※9、PASP(Phone Alert Status Profile)※8※9、TIP(Time Profile)※8、DUN(Dial-up Networking Profile)※10 使用周波数帯:2.4GHz帯(2.402GHz〜2.480GHz)

● 主な仕様(76ページ)

(誤)

※9 ご利用いただくには「カーナビデータ通信設定」アプリが必要です。「カーナビデータ通信設定」アプリは[auポータル]→[メニューリスト]からダウンロードしてください。一部のカーナビゲーションシステムのみに対応しています。ご利用にあたっては、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。

▶

(正)

※9 本機のソフトウェアアップデートにより対応予定です。
詳しくはSH DASHサポートページをご参照ください。
http://k-tai.sharp.co.jp/support/a/shl21/

※10ご利用いただくには「カーナビデータ通信設定」アプリが必要です。「カーナビデータ通信設定」アプリは[auポータル]→[メニューリスト]からダウンロードしてください。一部のカーナビゲーションシステムのみに対応しています。ご利用にあたっては、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。

■ お使いになる前に ■

このたびは、「AQUOS PHONE SERIE SHL21」（以下、「本製品」と表記します）をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご利用前に以下の内容をお読みいただき、正しくお使いください。

■ ダイレクトウェーブレシーバーについて

- ディスプレイ部を振動させて音を伝える「ダイレクトウェーブレシーバー」を搭載しています。受話部に穴はありませんが、通常通りご使用いただけます。
- 本製品の受話部付近を耳に当て、耳をおおうことで周囲の騒音を遮蔽し、音声がより聞き取りやすくなります。ご自身の聞こえかたや周囲の環境に合わせて本製品の位置を上下左右に動かし、調整してください。

■ 強制終了について

- **本製品の電池は内蔵されており、取り外せません。強制的に電源を切るには、［⏻］と［マナー］を同時に12秒以上押してください。**

- 強制的に電源を切ると、保存されていないデータは消失します。本製品が操作できなくなったとき以外は行わないでください。

■ au Micro IC Card (LTE)／microSD™メモリカードの取り付け／取り外しについて

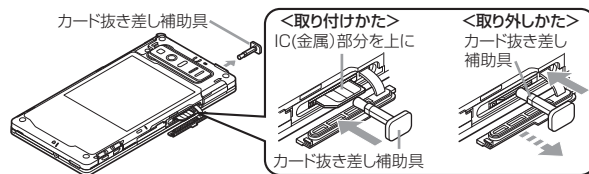
- **本製品の電源を切り、背面カバーを取り外してください。**
  背面カバーは、中央部分を押さえながら（①）本体の凹部に指先（爪）をかけて、矢印の方向に持ち上げる（②）と取り外すことができます。

＜取り付けかた＞

- イヤホンマイク端子に取り付けられたau Micro IC Card (LTE)・microSD™メモリカード抜き差し補助具（以下、「カード抜き差し補助具」と表記します）を使って、au Micro IC Card (LTE)／microSD™メモリカードをゆっくり差し込みます。挿入方向を確認し、カチッと音がしてロックされるまで矢印の方向に差し込んでください。

＜取り外しかた＞

- カード抜き差し補助具を使って、au Micro IC Card (LTE)／microSD™メモリカードを奥へゆっくり押し込みます。カチッと音がしたら、au Micro IC Card (LTE)／microSD™メモリカードにカード抜き差し補助具を添えながら手前に戻してください。
  au Micro IC Card (LTE)／microSD™メモリカードが出てきたら、まっすぐにゆっくりと引き抜きます。

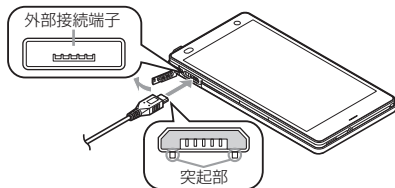
au Micro IC Card (LTE)の場合

※ カード抜き差し補助具について

- 誤飲で窒息するなど、事故や傷害などの原因となる場合がありますので、乳幼児の手の届く場所には置かないでください。使用しない場合は、イヤホンマイク端子に取り付けておいてください。
- 取り外した場合はなくさないようにご注意ください。

2012年9月　第1版
発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）
製造元：シャープ株式会社
TCAUZA244AFZZ

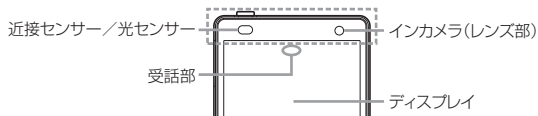
→次ページもお読みください。

■ 外部接続端子について

● microUSBプラグの突起部を背面カバー側に向け、本体の外部接続端子に平行にし、まっすぐ差し込んでください。

■ ご使用中の注意について

● 電源を入れてから「AQUOS PHONE」の表示が終了するまでの間と、スリープモード中に[電源]を押して画面を表示する際は、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。
● 充電中やカメラ機能動作中、YouTube起動中などは、本体の一部が温かくなる場合がありますが、故障ではありません。本体が温かくなった状態で、長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因になる場合がありますのでご注意ください。

■ 市販の保護カバーやシールなどについて

● **本製品の近接センサー／光センサーなどがある部分（下図点線部）は、市販の保護カバーやシールなどでおおわないでください。誤動作の原因となることがあります。**
また、ディスプレイのある面に市販の保護フィルムなどを貼るとタッチパネルの感度が悪くなること、受話音が聞き取りにくくなることがあります。

■ 防水／防塵について

● 外部接続端子カバー、背面カバー、au Micro IC Card (LTE)カバー、microSD™メモリカードカバーをしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、水や粉塵が浸入する原因となります。
● 本製品が濡れているときは、乾いた清潔な布で拭き取ってください。
● 手や本製品が濡れているときには、外部接続端子カバー、背面カバー、au Micro IC Card (LTE)カバー、microSD™メモリカードカバーの開閉は絶対にしないでください。
● カード抜き差し補助具をイヤホンマイク端子から外した状態でも、防水性能は保持されます。
● プールサイドで使用できます。ただし、プールの水などの水道水以外の水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。

■ microSDXC™メモリカードについて

● microSDXC™メモリカードは、SDXC対応機器でのみご使用いただけます。
万一、SDXC非対応の機器にmicroSDXC™メモリカードを差し込んだ場合、フォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットはしないでください。
SDXC非対応の機器でmicroSDXC™メモリカードをフォーマットした場合、microSDXC™メモリカードからデータが失われ、異なるファイルシステムに書き換えられます。また、microSDXC™メモリカード本来の容量で使用できなくなることがあります。

■ 充電用機器について

● **充電の際は、必ず指定のACアダプタ（別売）／DCアダプタ（別売）を使用してください。**
指定以外の充電用機器を使用すると、充電できなかったり、充電できたように見えても十分に充電できていないなどの性能維持や安全維持ができない原因となります。
● **卓上ホルダをご利用の際は、必ず指定のACアダプタ（別売）を接続してください。**
パソコンやポータブル充電器など、指定以外のものを卓上ホルダに直接接続すると故障の原因となりますので、接続しないでください。

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

大切な地球のために、一人ひとりができること。

それは、たとえばケータイや取扱説明書のリサイクルという、とても身近なことから始められます。

ケータイの本体や電池に含まれている希少金属や、取扱説明書などの紙類はリサイクルすることができます。
取扱説明書などの紙類は古紙原料として、製紙会社で再生紙となり、次の印刷物に生まれ変わります。また、このリサイクルによる資源の売却金は、国内の森林保全活動に役立てています。

ご不要になったケータイや取扱説明書は、お近くのauショップへ。
みなさまのご協力をお願いいたします。

新しいケータイを買った!!

使い終わったケータイと取扱説明書は大切な資源。リサイクル回収に出そう！

古いケータイと取説どーしよう？

1

回収しています

auショップへ持って行こう！

リサイクルお願いしま～す！

使い終わったケータイに入ったデータは、バックアップや消去がしっかりとできるので安心です。

2

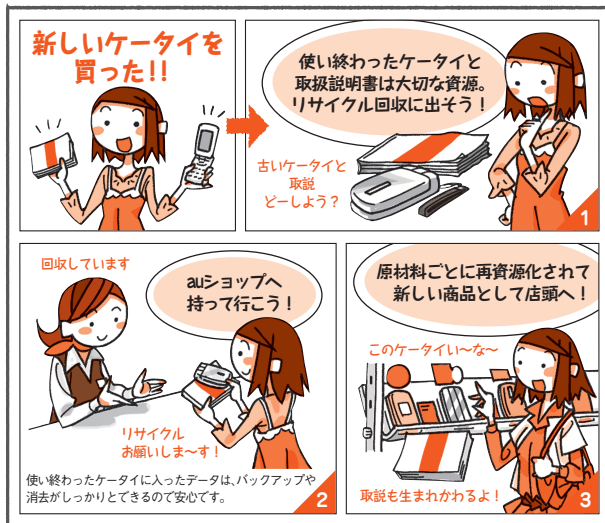
原材料ごとに再資源化されて新しい商品として店頭へ！

このケータイい～な～

取説も生まれかわるよ！

3

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

http://www.au.kddi.com/notice/recycle/index.html

お問い合わせ先番号

お客さまセンター

総合・料金について（通話料無料）

一般電話からは	au電話からは
フリーコール 0077-7-111	局番なしの157番

PRESSING ZERO WILL CONNECT YOU TO AN OPERATOR
AFTER CALLING 157 ON YOUR au CELLPHONE.

紛失・盗難時の回線停止のお手続き、
操作方法について（通話料無料）

一般電話からは	au電話からは
フリーコール 0077-7-113	局番なしの113番

上記の番号がご利用になれない場合、
下記の番号にお電話ください。（無料）

フリーコール 0120-977-033（沖縄を除く地域）
フリーコール 0120-977-699（沖縄）

安心ケータイサポートセンター

紛失・盗難・故障について（通話料無料）

一般電話／au電話から

フリーコール 0120-925-919

受付時間　9:00～21:00（年中無休）

この取扱説明書は植物油インキで印刷しています。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。
取扱説明書リサイクルにご協力ください。
このマークのあるお店で回収し、循環再生紙として
再利用します。お近くのauショップへお持ちください。

携帯電話•PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わずマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

2012年9月第1.2版
発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）
製造元：シャープ株式会社
TINSJA950AFZZ